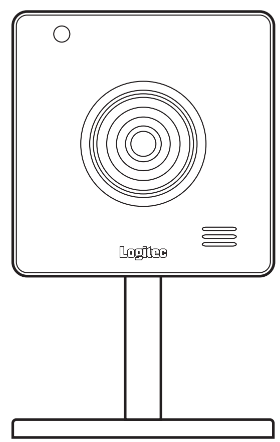
Network Camera

100万画素 3G対応ネットワークカメラ

LAN-NC1M3G/FX

ソフトウェアマニュアル

このマニュアルは、本製品に付属のWindows版ソフトウェアのマニュアルです。



ご注意

●本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
●本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
●このマニュアルの著作権は、ロジテック株式会社が所有しています。
●このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
●このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
●本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
●本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
●Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

100万画素 3G対応ネットワークカメラ

LAN-NC1M3G/FX

Software Manual
ソフトウェアマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックのネットワーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルでは、ネットワークカメラ“LAN-NC1M3G/FX”に付属するWindows版ソフトウェア「NCライブクライアント」および「NCプレイバック」のインストールおよび使用方法を説明しています。
本製品の導入方法などは、本製品に添付の「セットアップガイド」を、ブラウザ版のユーティリティの使用方法は、PDFで添付された「ブラウザ版ユーティリティ操作ガイド」をお読みください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

もくじ

導入編

導入編では、本製品に付属のWindows版ソフトウェア「NCクライアント」および「NCプレイバック」の概要とインストール方法を説明しています。

1 はじめにお読みください

Windows版ソフトウェアについて

本製品には、Windows上で本製品が撮影した映像のモニターや録画、再生ができる「NCライブクライアント」と「NCプレイバック」という2種類のソフトウェアが付属しています。

NCライブクライアント

NCライブクライアントには、以下のような特長があります。

●最大16台の本製品を同時に接続してモニターすることができます。
●お好みに応じて、1×1、2×2、1＋5、3×3、1＋12、4×4の6種類の中から表示レイアウトを選べます。
●複数のレイアウトを登録して、選ぶことができます。
●ローテーション機能を装備し、一定間隔でモニターする映像を切り替えることができます。
●あらかじめ設定したスケジュールに従って、または手動で映像（音声を含む）を録画することができます。
●モニター中の映像を静止画としてキャプチャする「スナップショット」機能があります。
●モニター中の動画を印刷することができます。
●モニターするユーザーを登録し、管理することができます。ユーザーは「役割」により、利用できる機能を制限できるほか、カスタマイズすることもできます。

NCプレイバック

NCプレイバックには、以下のような特長があります。

●「NCライブクライアント」によって録画された映像を閲覧することができます。
●最大16個のインデックスの映像を同時に閲覧できます。
●標準速度での再生以外に、録画映像を早送りや遅送り、コマ送りなどで閲覧することができます。
●録画した映像をAVI、3GP形式、さらに再生機能を内包したEXE形式でエクスポートできます。

●閲覧中の映像を静止画としてキャプチャする「スナップショット」機能があります。
●閲覧中の動画を印刷することができます。
●時間、イベント、ログを対象にした、検索機能を装備しています。見たい映像を検索機能を使って簡単に探し出すことができます。

動作環境

NCライブクライアントおよびNCプレイバックは、以下の動作環境に対応します。

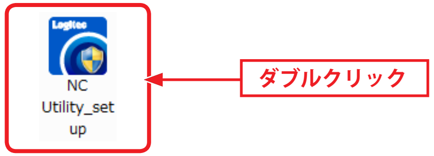
対応OS	Windows 7（64/32bit）、Windows Vista Business（64/32bit）、 Windows XP Professional（64/32bit） Windows Server 2008/2003/2000
チャンネル数	最大16チャンネル
CPU	Intel Core 2Duo E6400 2.13GHz以上
必要メインメモリ	2GB以上
ネットワーク	イーサネット（ギガビット推奨）
グラフィックカード	インターフェイス：AGPまたはPCI-Express規格対応 解像度：1024×768以上、カラー：16ビットカラー VRAM：128MB以上（512MB推奨）
ハードディスクドライブ	ATA-100/SATA/SCSI/SAS（7200rpm以上）、 フォーマット形式：NTFSフォーマット
ハードディスク空き容量	750GB以上

2 ソフトウェアのインストール

付属CD-ROMに含まれるWindows版ソフトウェア「NCライブクライアント」および「NCプレイバック」のインストール方法について説明します。2種類のソフトウェアは、このインストール作業によって同時にインストールされます。

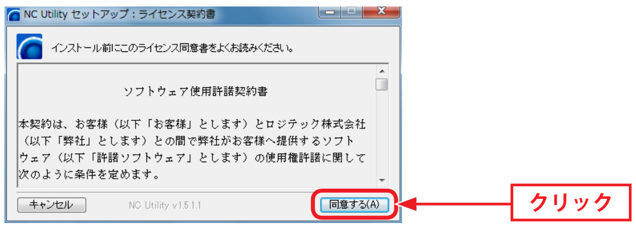
1 **付属のCD-ROMの内容を表示します。**

2 **「NC Utility_setup (.exe)」をダブルクリックします。**

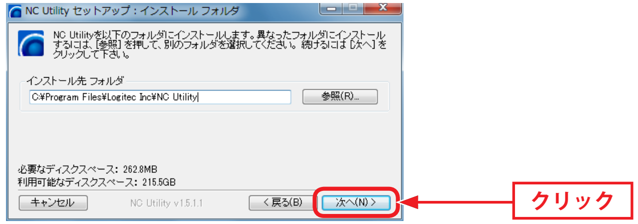


Windows 7/Vistaの場合
インストールプログラムを実行すると、〈ユーザー アカウント制御〉画面が表示されますので、Windows 7なら［はい］を、Windows Vistaなら［許可］をクリックします。

3 **「ライセンス契約書」が表示されます。［同意する］をクリックします。**

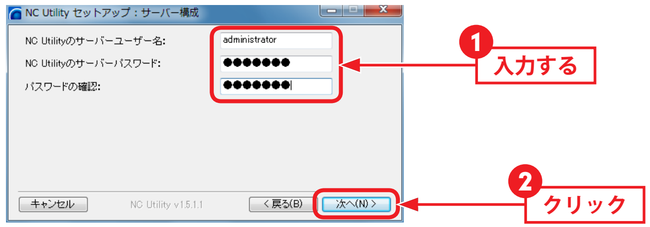


4 **通常はそのまま、［次へ］をクリックします。**



- インストール先を変更したい場合は、任意のインストール先を指定します。

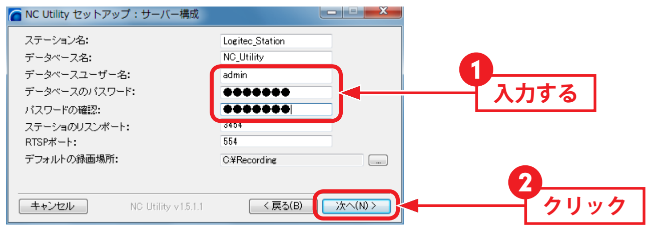
5 **本ソフトウェアをインストール後、起動時に要求されるユーザー名とパスワードを設定し、［次へ］をクリックします。**



ユーザー名の初期値	adminisrator
パスワード	任意のパスワードを半角英数字で設定します。

- ［パスワードの確認］には、確認用に同じパスワードを入力します。

6 **データベースにアクセスするためのユーザー名とパスワードを設定し、［次へ］をクリックします。**



- 必要に応じて、その他の項目も設定可能です。通常は変更の必要はありません。

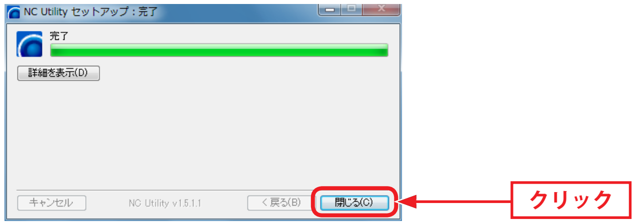
7 **SQLサーバがインストールされているか選択し、 インストール をクリックします。**



• インストールが始まります。

SQL Serverについて
本ソフトウェアにはSQL Serverが必要です。ご使用になるPCにSQL Serverがインストールされてない場合は、必ずインストールしてください。
インストール済みの場合は、すでにご使用中の情報を各項目に入力してください。

8 **「完了」と表示されます。 閉じる をクリックします。**



9 **これでソフトウェアのインストールは完了です。**
ソフトウェアの使用方法については、まずP11「NCライブクライアント 操作編」をお読みください。

NCライブクライアント 操作編

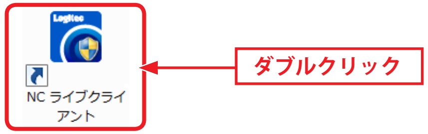
本製品を活用できるクライアントソフト「NCライブクライアント」の使用方法を説明しています。

1 NCライブクライアントの起動と終了

NCライブクライアントの起動方法と終了方法を説明します。

起動方法

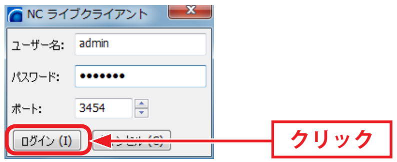
1 デスクトップ上にある[NC ライブクライアント]のショートカットアイコンをダブルクリックします。



Windows 7/Vistaの場合

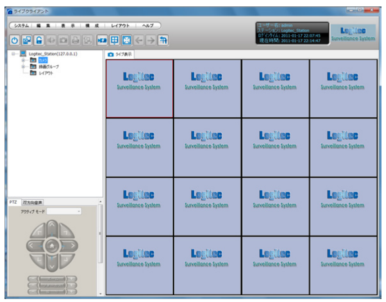
インストールプログラムを実行すると、〈ユーザー アカウント制御〉画面が表示されますので、Windows 7なら［はい］を、Windows Vistaなら［許可］をクリックします。

2 ユーザー名とパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。



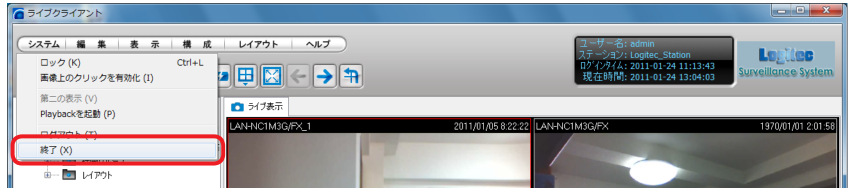
• 初期値は、インストール時に設定したユーザー名とパスワードになります。

3 NCライブクライアントの〈メイン〉画面が表示されます。



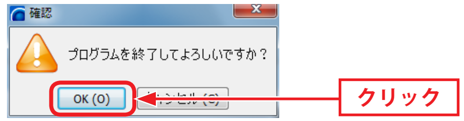
終了方法

1 メニューバーの[システム]→[終了]を選択します。

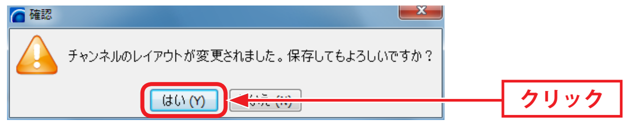


• 画面の × をクリックする方法およびツールバーの アイコンをクリックする方法もあります。

2 ［OK］をクリックします。



3 レイアウトなどの設定を変更している場合は、保存するか確認の画面が表示されますので、［はい］または［いいえ］をクリックします。



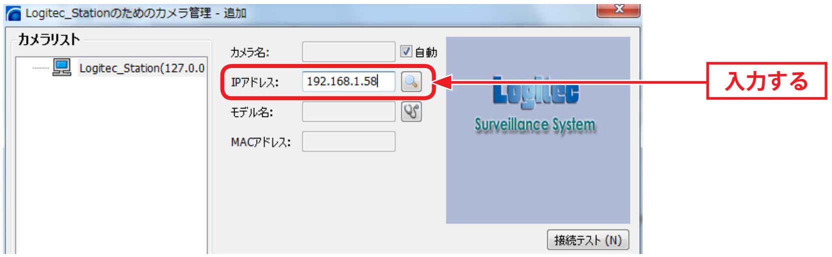
4 NCライブクライアントが終了します。

2 カメラを登録する

はじめて「NCライブクライアント」を起動したときは、ネットワークに接続したカメラを登録する必要があります。あらかじめカメラがブラウザ版ユーティリティでモニターできる状態になっていることを確認しておいてください。

1 メニューバーの[構成]→[カメラ管理]→[カメラを追加]を選択します。

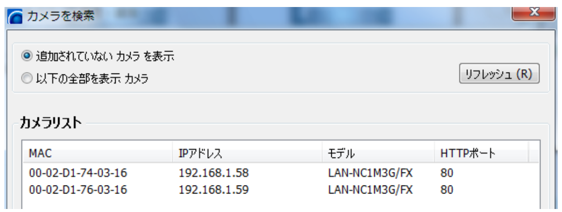
2 カメラのIPアドレスを入力します。



ローカルネットワーク(LAN)上のネットワークカメラを追加する場合

[アイコン] をクリックすると、リストからカメラを登録できます。

① [アイコン] をクリックします。〈カメラを検索〉画面が表示されます。



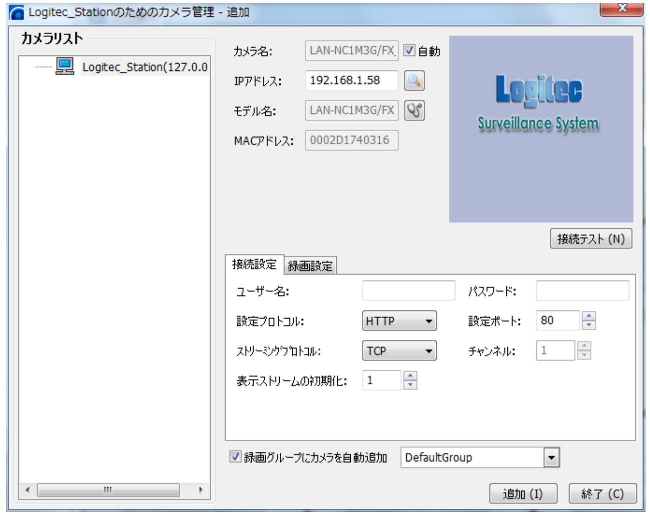
②[追加されていないカメラを表示]を選択します。[カメラリスト]に、未登録のカメラが表示されます。

④登録したいカメラをダブルクリックします。

⑤追加画面の[IPアドレス]に、選択したカメラのIPアドレスが表示されます。

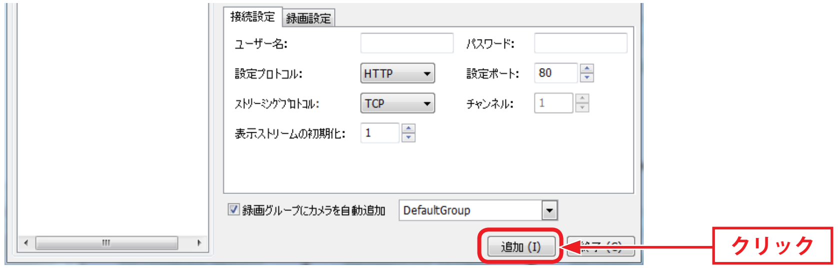
⑥ [×] をクリックすると〈カメラ検索〉画面が閉じます。

3 必要な場合は、各項目を設定します。



カメラ名	[自動]を選択し、[モデル名]の [アイコン] をクリックすると、カメラに設定されている名称が自動的に表示されます。この名称は、ブラウザ版ユーティリティの〈システム〉画面の[ホスト名]です。
IPアドレス	手順 2 で入力したIPアドレスです。
モデル名	カメラのモデル名を表示します。[IPアドレス]で〈カメラを検索〉画面から登録した場合は、登録時に自動的に表示されます。 IPアドレスを手動で入力した場合は、[アイコン] をクリックすると表示されます。
MACアドレス	カメラのMACアドレスが表示されます。[IPアドレス]を〈カメラを検索〉画面から登録した場合は、自動的に表示されます。
接続設定	接続に関する設定をします。各項目については、P38「接続設定」をお読みください。
録画設定	録画に関する設定をします。各項目については、P39「録画設定」をお読みください。
録画グループに カメラを自動追加	この項目をオンにすると、登録するカメラをデバイスツリーにある「録画グループ」に自動的に登録します。
接続テスト	設定後にカメラに接続できるかテストします。接続できるとビューワー画面に映像が表示されます。

4 設定が終われば 追加 をクリックします。

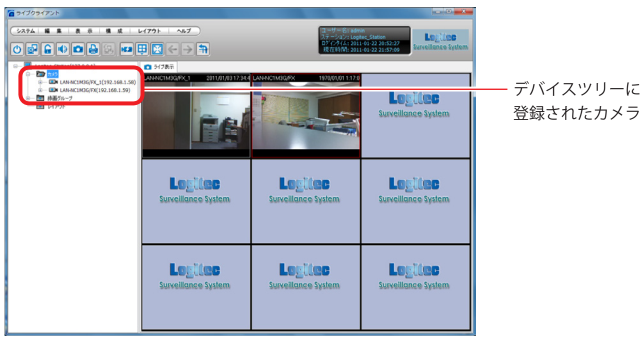


5 カメラがNCライブクライアントに登録されます。複数のカメラを登録する場合は、手順 2 ～ 4 の作業をくり返します。

6 すべてのカメラの登録が終われば、 終了 をクリックします。



7 これでカメラの登録は完了です。デバイスツリーにカメラが登録され、ビューウィンドウに映像が表示されます。



3 メイン画面の機能

メイン画面



①	メニューバー	メニューのボタンをクリックすると、一覧からNCライブクライアントの機能を選択できます。各メニューの説明は、P18「メニューバーの構成」をお読みください。
②	ツールバー	メニューバーの機能のうち、よく使う機能をアイコンボタンで表示しています。各ボタンの説明は、P20「ツールバーの構成」をお読みください。

③	デバイスツリー	NCライブクライアントが認識しているデバイスをツリー表示します。おもなアイコンについては、P21「デバイスツリーの構成」をお読みください。
④	ステータスパネル	ユーザー名/ステーション名/ログインした日時/現在の日時が表示されます。
⑤	カメラ コントロール パネル	PTZタブ：PTZ（パン/チルト/ズーム）などの機能を搭載したネットワークカメラの遠隔操作が可能です。本製品（LAN-NC1M3G/FX）では、ご使用になれません。 双方向音声タブ：双方向で会話できる機能を搭載したネットワークカメラの場合、カメラの周囲にいる人と会話できます。本製品（LAN-NC1M3G/FX）では、ご使用になれません。
⑥	ビューウィンドウ	NCライブクライアントが認識しているカメラの映像を表示します。1〜16分割まで6パターンから画面表示方法を選択できます。

メニューバーの構成

ここでは、メニューバーにある各メニューの概要を説明します。各メニューの詳細については、それぞれの参照ページをお読みください。

●システム メニュー　→P23に各機能の説明があります。

ロック	NCライブクライアントの操作をロックすることができます。
画像上のクリックを有効化（無効化）	本製品（LAN-NC1M3G/FX）では、ご使用になれません。
第二の表示	デュアルモニターを使用している場合に、2画面表示が可能です。
Playbackを起動	付属ソフト「NCプレイバック」を起動します。
ログアウト	現在のユーザーでのログインを終了します。
終了	NCライブクライアントを終了します。

●編集 メニュー　→P28に各機能の説明があります。

手動で録画開始	選択したカメラの映像を手動で録画します。
スナップショット	ビューウィンドウで選択中（赤枠）の映像を静止画で保存できます。
印刷	映像を印刷することができます。
検索	デバイスツリー上のカメラを検索することができます。

●表示 メニュー　→P35に各機能の説明があります。

PTZ Panel	本製品（LAN-NC1M3G/FX）では、ご使用になれません。
双方向オーディオパネル	本製品（LAN-NC1M3G/FX）では、ご使用になれません。
フルスクリーン	現在表示中のビューウィンドウをフルスクリーンで表示します。キーボードの［ESC］キーで元の表示に戻ります。
最小化	NCライブクライアントの画面を最小化します。

●構成 メニュー

カメラ管理	NCライブクライアントにカメラを新しく登録したり、登録したカメラの設定変更や削除ができます。	→P36
ユーザー管理	NCライブクライアントの機能を利用する複数のユーザーのアカウントを作成し、管理することができます。	→P43
関連付けの管理	各カメラのデジタル入力およびデジタル出力の有効/無効を設定できるほか、デジタル入出力の名称を管理しやすいように変更することができます。	→P48
ステーション設定	ステーションの基本機能、ネットワーク、録画グループ、録画スケジュール、サーバに関する設定ができます。	→P50
クライアント設定	NCライブクライアントの基本機能、スナップショット、セルの表示方法などを設定します。	→P72

●レイアウト メニュー　→P78に各機能の説明があります。

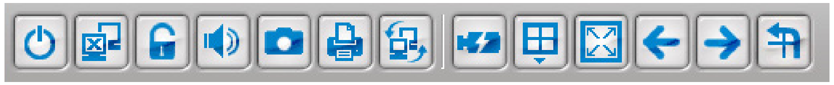
ローテーションの開始/終了	ビューウィンドウが複数ある場合、指定秒ごとにウィンドウを切り替えます。ローテーション中は「ローテーションの終了」と表示されます。
編集	レイアウトに関する設定を新規作成したり、編集したりします。
選択	登録済みのレイアウトの中から、使用したいレイアウトを選択できます。

●ヘルプ メニュー

バージョン情報	NCライブクライアントのバージョン情報を表示します。

ツールバーの構成

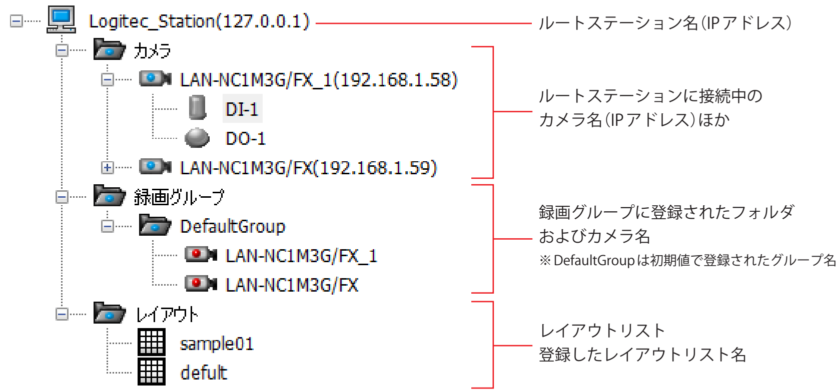
ツールバーの各ボタンの機能について説明します。



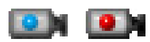
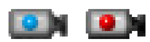
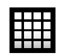
	本製品を終了します。詳しくはP13「終了方法」をお読みください。
	現在のユーザーでのログインを終了します。詳しくはP27「ログアウトとログイン」をお読みください。
	NCライブクライアントの操作をロックします。詳しくはP23「ロック」をお読みください。
	ビューウィンドウで選択中（赤枠）の映像のモニター音量を調整できます。［すべてに適用］をオンにすると、NCライブクライアントに接続されているすべてのカメラのモニター音量をまとめて調整することができます。 ［ミュート］をオンにすると、音声が聞こえなくなります。ミュート時はアイコンが  に変わります。
	ビューウィンドウで選択中（赤枠）の映像を静止画で保存できます。詳しくはP30「スナップショット」をお読みください。
	映像を印刷することができます。操作方法は、P32「印刷」をお読みください。
	デュアルディスプレイを使用時、メインディスプレイとサブディスプレイを入れ替えることができます。このボタンをクリックするたびに画面が入れ替わります。
	接続中のすべてのカメラの接続を解除します。
	ビューウィンドウのレイアウトを選択することができます。1×1、2×2、1＋5、3×3、1＋12、4×4の6種類から選択できます。
	現在表示中のビューウィンドウをフルスクリーンで表示します。キーボードの［ESC］キーで元の表示に戻ります。
	ビューウィンドウに複数のページがある場合に有効になります。このボタンをクリックすることでページが切り替わります。
	ビューウィンドウの映像を切り替えながら表示する「ローテーション」を開始します。
	ローテーションを終了します。ローテーション開始中に表示されるアイコンです。

デバイスツリーの構成

デバイスツリーに表示されるアイコンについて説明します。



●アイコンの概要

	ステーション名が表示されます。 初期値：Logitec_Station
カメラ 	NCライブクライアントに登録された本製品（LAN-NC1M3G/FX）が表示されます。アイコンの○マークが青色は接続中、赤色は未接続の状態を表します。
	デジタル入力のオン/オフを表示します。
	デジタル出力のオン/オフを表示します。
録画グループ 	録画グループに登録されたカメラが表示されます。 アイコンの○マークが青色は録画停止中、赤色は録画実行中の状態を表します。
	ネットワーク上にビデオサーバーがある場合に表示されます。赤色は録画中の状態を表します。 ビデオサーバーについては、P71「サーバー設定」をお読みください。
	ビューウィンドウのレイアウトパターンを登録している場合に表示されます。アイコンの横の名称がレイアウトパターンの登録名です。レイアウトの登録については、P78「レイアウトの編集」をお読みください。

ビューウィンドウのポップアップメニュー

ビューウィンドウのセルを右クリックするとポップアップメニューが表示されます。



削除	セルからこのカメラの映像を削除します。
単一表示★	選択中のセルの映像のみを1画面で表示します。 1画面表示のときは、チェックマークが表示されます。チェックマーク表示時に選択すると元のレイアウト表示に戻ります。
フルスクリーン★	現在のレイアウト表示のままフルスクリーン表示に切り替わります。キーボードの[ESC]キーを押すと、元の画面に戻ります。
ストリーミングX	ストリーミングのリストが表示されます。ストリーミング番号の先頭に●マークが表示されているものが現在選択中のストリーミングです。
設定して実行	デジタル出力の設定をノーマルにするかトリガーにするかを選択します。初期値＝ノーマル
その他	選択中のセルにおいて、メニューから、スナップショット、印刷、ミュートが実行できます。

※映像を表示していないセルでは★マークの項目のみが表示されます。

4 システム メニュー

システムメニューの各項目について説明します。

ロック	第三者にNCライブクライアントを操作されないように、NCライブクライアントの操作をロックすることができます。使用方法については、P23「ロック」をお読みください。
画像上のクリックを有効化(無効化)	本製品(LAN-NC1M3G/FX)では、ご使用になれません。
第二の表示	1台のパソコンに2台のディスプレイを接続するデュアルモニターを使用している場合に有効になります。使用方法については、P24「第二の表示」をお読みください。
Playbackを起動	付属ソフト「NCプレイバック」を起動します。「NCプレイバック」の使用方法は、P81「NCプレイバック 操作編」をお読みください。
ログアウト	現在のユーザーでのログインを終了します。詳しくはP27「ログアウトとログイン」をお読みください。
終了	NCライブクライアントを終了します。確認の画面が表示されますので、OKボタンをクリックします。 ※設定を変更している場合、保存するかどうか確認の画面が表示されます。はいまたはいいえをクリックします。

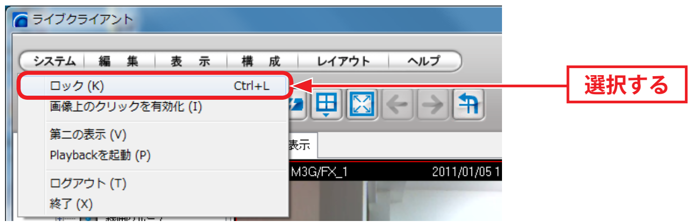
ロック

第三者にNCライブクライアントを操作されないように、操作をロックすることができます。ロックすると、ログイン時と同じパスワードを入力しない限り、操作ができなくなります。

画面の表示方法　[システム] ➡ [ロック]

●ロックする

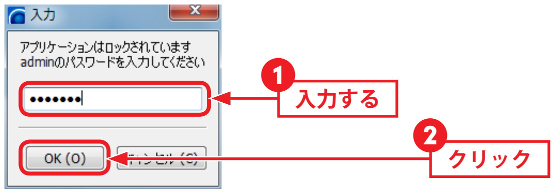
❶ [システム]→[ロック]を選択します。



- これでNCライブクライアントがロックされました。以降は、操作しようとするたびに、パスワードの入力画面が表示されます。

●ロックを解除する

NCライブクライアントで何らかの操作をしようとすると、パスワードの入力画面が表示されます。ログインしたユーザーのパスワードを入力し、［OK］をクリックすると、操作を続けることができます。



第二の表示

この機能は、1台のパソコンに2台のディスプレイを接続するデュアルディスプレイを使用している場合に使用できます。メインディスプレイにはメイン画面を、サブディスプレイにはメイン画面とは別のビューウィンドウを開くことができるため、最大16台までのカメラの映像をモニターできます。

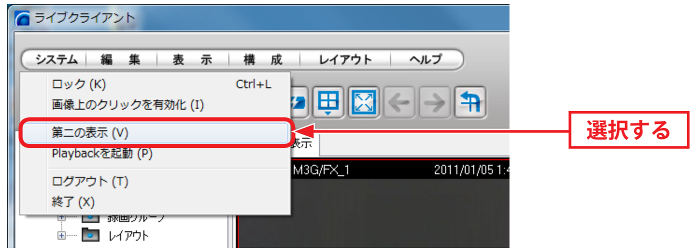
画面の表示方法　（デュアルディスプレイのメインで本ソフト起動）➡［システム］➡［第二の表示］



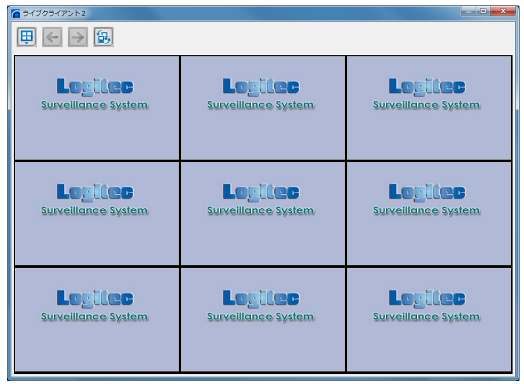
1 **あらかじめデュアルディスプレイの状態でパソコンを起動します。**

2 **メインディスプレイ上で、NCライブクライアントを起動します。**

3 **メニューバーの［システム］→［第二の表示］を選択します。**

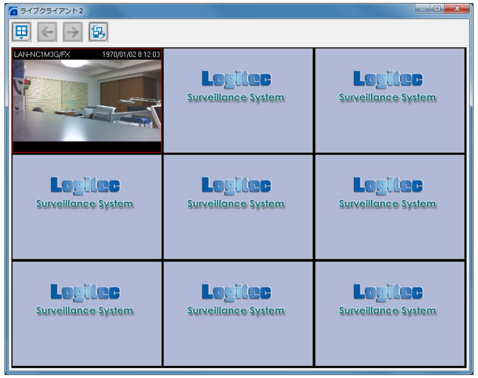


4 **サブディスプレイに〈ライブクライアント2〉画面が表示されます。**



- 〈ライブクライアント2〉画面には、ビューウィンドウと表示に関するツールバーだけが表示されます。

5 〈ライブクライアント2〉画面にカメラの映像を表示します。



次の3種類の表示方法があります。

●［デバイスツリー］の［カメラ］から、表示したいカメラのアイコンを、ビューウィンドウ上の任意のセルにドラッグ＆ドロップします。

●いずれかのセルをクリックしてから、［デバイスツリー］の［カメラ］のアイコンをクリックします。

●メインディスプレイのビューウィンドウに表示されている映像を、サブディスプレイのビューウィンドウにドラッグ＆ドロップします。

■その他の操作

	メインディスプレイとサブディスプレイで、別々にレイアウトを選択することができます。1×1、2×2、1＋5、3×3、1＋12、4×4の6種類から選択できます。
	ビューウィンドウに複数のページがある場合に有効になります。このボタンをクリックすることでページが切り替わります。
	メインディスプレイとサブディスプレイを入れ替えることができます。このボタンをクリックするたびに画面が入れ替わります。
	サブ画面を閉じます。

3台以上のディスプレイを接続している場合

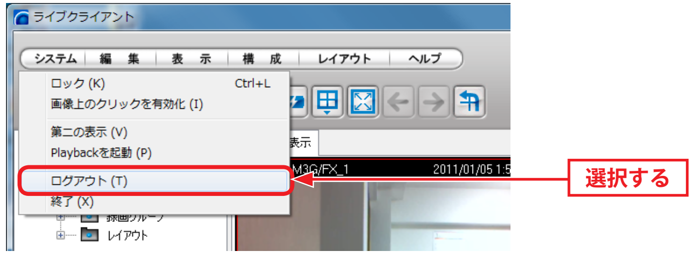
NCライブクライアントは3台以上のマルチディスプレイにも対応しています。
をクリックすると、接続台数にあわせてリストが表示されますので、切り替えたいディスプレイを選択します。

ログアウトとログイン

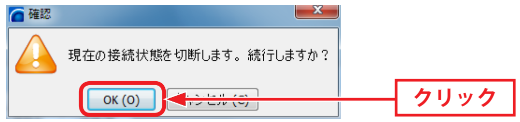
現在のユーザーでのログインを終了し、別のユーザーでログインし直すことができます。

画面の表示方法　［システム］➡［ログアウト］

1 メニューバーの［システム］→［ログアウト］を選択します。

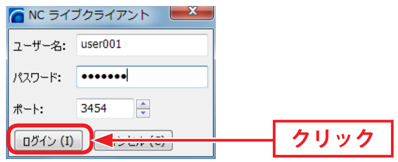


2 ログアウトするか確認の画面が表示されます。 OK をクリックします。



• レイアウト等の設定を変更している場合は、設定を保存するかどうか確認の画面が表示されます。必要に応じて設定を保存または破棄してください。

3 再ログインするための画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力し、 ログイン をクリックします。



5 編集メニュー

編集メニューの各項目について説明します。

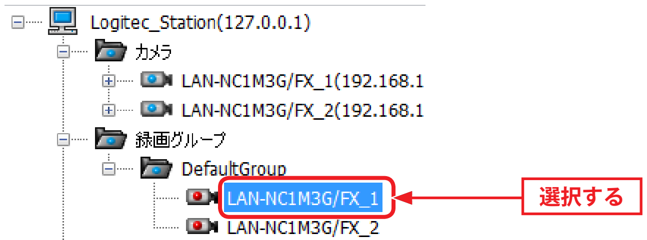
手動で録画開始/録画終了	選択したカメラの映像を手動で録画します。操作方法については､P28｢手動で録画｣をお読みください。
スナップショット	ビューウィンドウで選択中のセル（赤枠）の映像をBMP形式の静止画で保存します。操作方法は、P30「スナップショット」をお読みください。
印刷	映像を印刷することができます。操作方法は、P32「印刷」をお読みください。
検索	デバイスツリー上の情報を検索することができます。

手動で録画

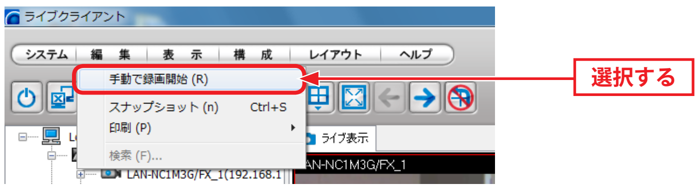
録画スケジュールとは関係なく、カメラ単位で手動で録画の開始と終了ができます。

画面の表示方法　（カメラ選択後）［編集］➡［手動で録画開始］

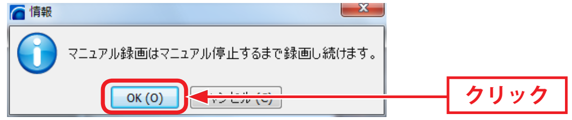
1 デバイスツリーの[録画グループ]を開き、手動で録画したいカメラを選択します。



2 メニューバーの[編集]→[手動で録画開始]を選択します。

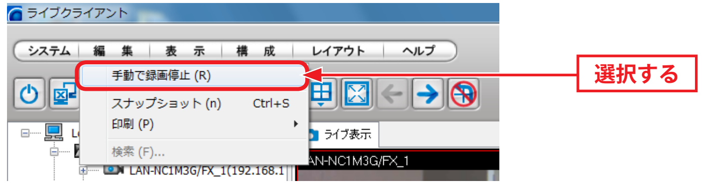


3 録画を開始することを確認する画面が表示されますので、 OK をクリックします。



- 録画が開始されます。

4 録画を終了するときは、メニューバーの[編集]→[手動で録画停止]を選択します。



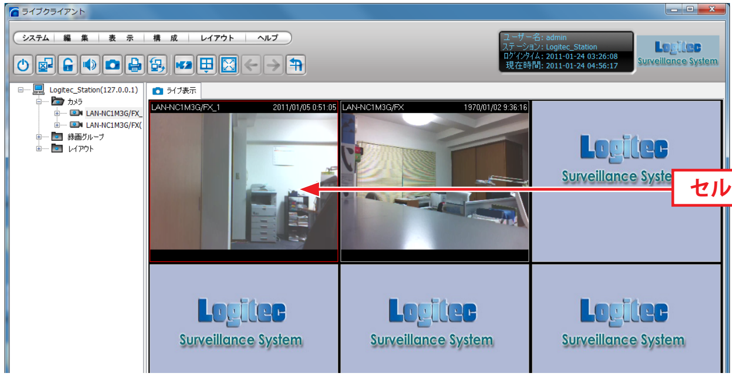
録画された映像について
録画ファイルは、メニューバーの[構成]→[ステーション設定]→[録画グループ設定]で指定された場所に保存されています。

スナップショット

ビューウィンドウで選択中のセル（赤枠）の映像を静止画で保存します。なお、保存画像のファイル形式等の設定は、「スナップショット設定（→P72）」の設定に従います。

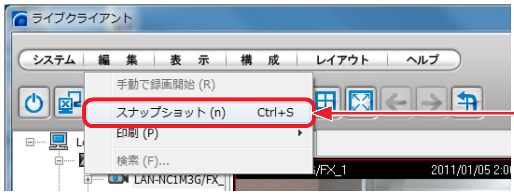
画面の表示方法　（セル選択）➡［編集］➡［スナップショット］

1 スナップショットで撮影したいセルを選択します。

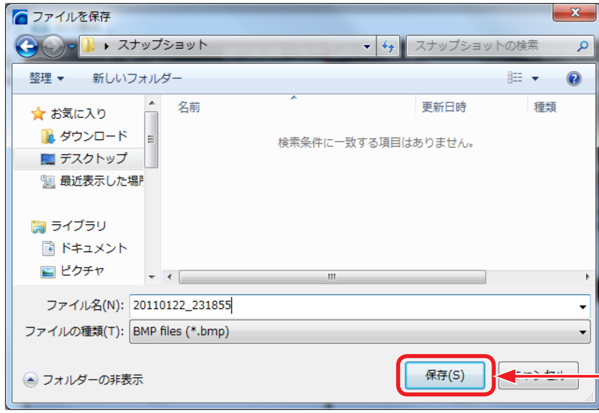


• 選択したセルが赤枠で囲まれます。

2 メニューバーの［編集］→［スナップショット］を選択します。



3 〈ファイルを保存〉画面が表示されます。ファイルの保存場所とファイル名を指定し、保存 をクリックします。



• ファイル形式等は、「スナップショット設定（→P72）」の設定に従います。

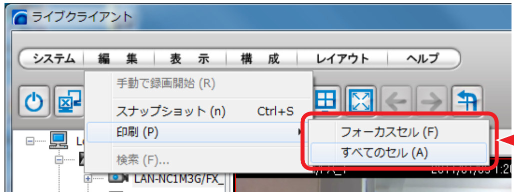
4 ファイルが、指定した場所に保存されます。

印刷

印刷を実行した瞬間の映像をプリントアウトすることができます。

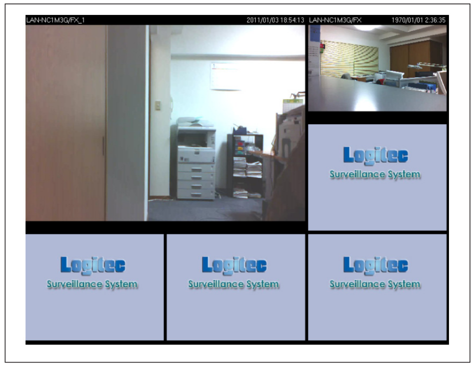
画面の表示方法　［編集］➡［印刷］

1 メニューバーの［編集］→［印刷］を選択し、さらに印刷対象を選択します。

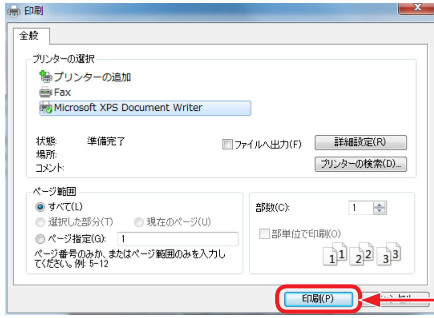


フォーカスセル	ビューウィンドウで選択中のセル（赤枠）の映像を印刷します。
すべてのセル	ビューウィンドウ全体を印刷します。

※レイアウトで1＋5を選択している場合、以下のように印刷されます。



2 必要に応じてプリンタおよびオプションを設定し、［印刷］をクリックします。



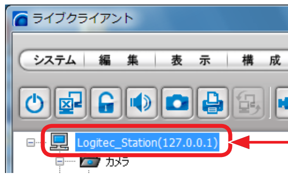
3 映像がプリンタから印刷されます。

検索

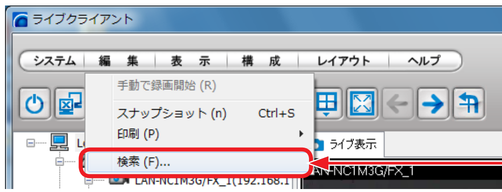
デバイスツリーのカメラリストから特定のカメラを検索することができます。

画面の表示方法　（ステーション選択）➡［編集］➡［検索］

1 デバイスツリーで、ステーションアイコン を選択します。

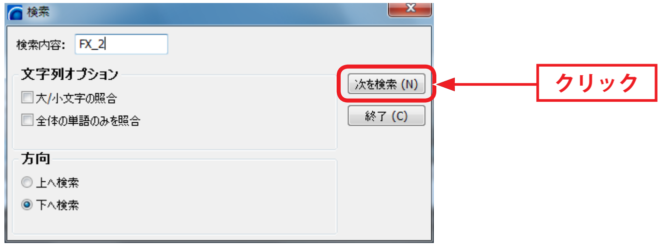


2 メニューバーの［編集］→［検索］を選択します。

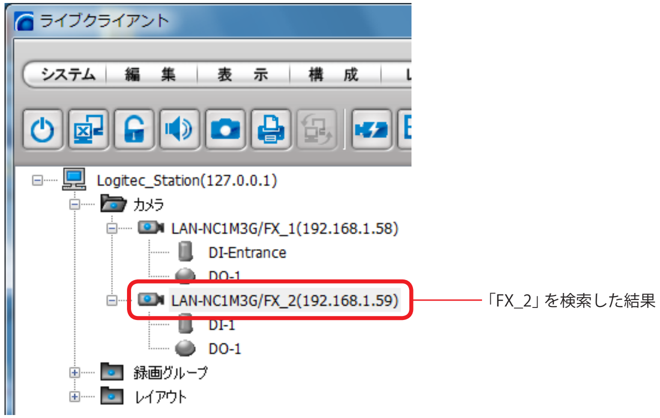


• ステーションアイコンを右クリックし、リストから選択する方法もあります。

3 **検索したい文字列（カメラの名称の一部またはすべて）を入力し、必要に応じてオプションを選択します。**
次を検索 をクリックします。



5 **検索結果が表示されます。**



- 検索対象が複数ある場合は、次を検索 をクリックすると、次の検索結果に移動します。
- 検索対象がない場合は、以下の画面が表示されます。OK をクリックします。



- 終了する場合は、〈検索〉画面の 終了 をクリックします。

6 表示メニュー

表示メニューの各項目について説明します。

PTZ Panel	［カメラコントロールパネル］の【PTZ】タブを表示します。 本製品（LAN-NC1M3G/FX）には、PTZ機能がありませんので、このタブを表示しても、ご使用になれません。
双方向オーディオパネル	［カメラコントロールパネル］の【双方向音声】タブを表示します。本製品（LAN-NC1M3G/FX）には、双方向音声機能がありませんので、このタブを表示しても、ご使用になれません。
フルスクリーン	現在表示中のビューウィンドウをフルスクリーンで表示します。キーボードの［ESC］キーで元の表示に戻ります。
最小化	NCライブクライアントの画面を最小化します。

7 構成メニュー ［カメラ管理］

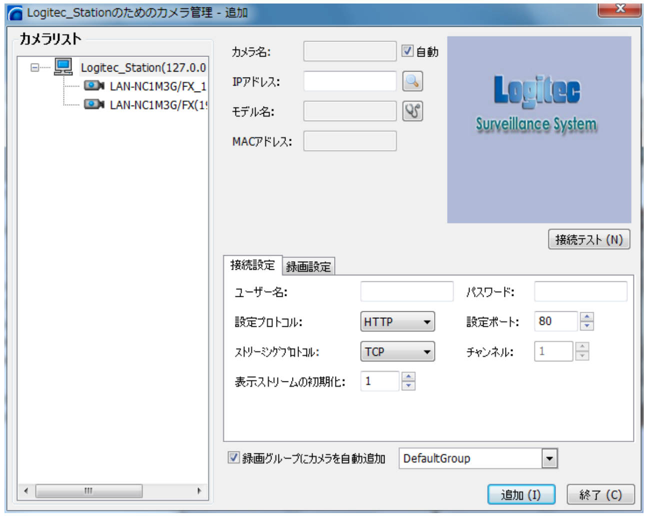
構成メニューの各項目について説明します。

カメラを追加	NCライブクライアントにカメラを新しく登録します。	→P36
カメラを更新	登録したカメラの各種設定を変更します。	→P41
カメラの削除	登録したカメラを削除します。	→P42

カメラを追加

NCライブクライアントにカメラを登録します。ここでは、［カメラを追加］を選択した場合に表示される〈カメラ管理-追加〉画面の項目について説明します。登録の手順については、P14「2. カメラを登録する」をお読みください。

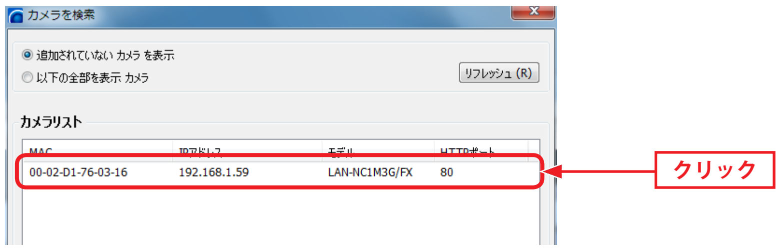
画面の表示方法　［構成］ ➡ ［カメラ管理］ ➡ ［カメラを追加］



カメラ名	［自動］を選択し、［モデル名］の をクリックすると、カメラに設定されている名称が自動的に表示されます。この名称は、ブラウザ版ユーティリティの〈システム〉画面の［ホスト名］です。
IPアドレス	IPアドレスは手動で入力、または〈カメラ検索〉画面から登録します。
モデル名	カメラのモデル名を表示します。［IPアドレス］で〈カメラを検索〉画面から登録した場合は、登録時に自動的に表示されます。 IPアドレスを手動で入力した場合は、 をクリックすると表示されます。
接続設定	接続に関する設定をします。各項目については、P38「接続設定」をお読みください。
録画設定	録画に関する設定をします。各項目については、P39「録画設定」をお読みください。
録画グループに カメラを自動追加	この項目をオンにすると、登録するカメラをデバイスツリーにある「録画グループ」に自動的に登録します。
接続テスト	設定後にカメラに接続できるかテストします。接続できるとビューワー画面に映像が表示されます。

〈カメラを検索〉画面

〈カメラ管理-追加〉画面で、 をクリックすると、接続可能なカメラをリストで表示します。リストに表示されたカメラをクリックすると、選択したカメラの情報が〈カメラ管理-追加〉画面に表示されます。画面を閉じるときは、 をクリックします。



追加されていないカメラを表示	NCライブクライアントに登録されていないカメラを一覧で表示します。
以下の全部を表示カメラ	NCライブクライアントにすでに登録されたカメラを含めすべてのカメラを一覧で表示します。
カメラリスト	検索で見つかったカメラの情報を表示します。
リフレッシュ	このボタンをクリックすると、再検索します。

接続設定

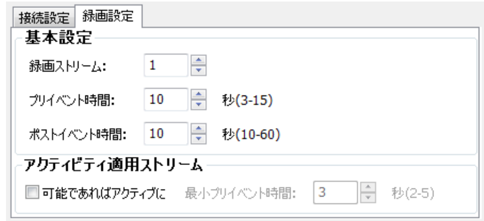
選択中のカメラとの接続に関するオプションを設定します。



ユーザー名	カメラへの接続を許可するユーザー名を設定します。
パスワード	カメラへの接続を許可するパスワードを設定します。
設定プロトコル	インターネットを介して接続する場合に使用するプロトコルをHTTPまたはHTTPSから選択します。初期値＝HTTP
設定ポート	インターネットを介して接続する場合に使用するポート番号を設定します。初期値＝HTTP：80、HTTPS：443
ストリーミングプロトコル	ストリーミングに使用するプロトコルをUDP/TCP/HTTP/HTTPSから選択します。初期値＝TCP
チャンネル	変更できません。
表示ストリームの初期化	ビューウィンドウで、映像をモニターするときに使用するストリーミング番号を1～3の中から選択します。初期値＝1

録画設定

選択中のカメラの録画に関するオプションを設定します。

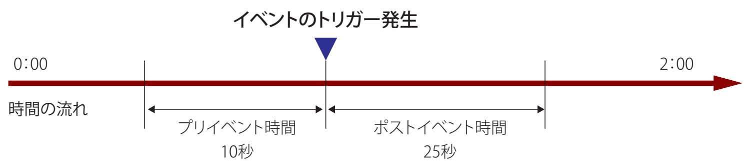


●基本設定

録画ストリーム	録画するストリームソースの番号を1～3の中から選択します。初期値＝1
プリイベント時間	イベントのトリガー発生時点からさかのぼって何秒前から映像を録画するかを設定します。初期値＝10
ポストイベント時間	イベントのトリガー発生時点から何秒後まで映像を録画するかを設定します。初期値＝10

プリイベント時間とポストイベント時間

イベントが発生した場合に、イベントが発生した時間を基準に何秒前から高密度で録画するのか（プリイベント時間）と、イベントが発生した時間を基準に何秒後まで高密度で録画するのか（ポストイベント時間）を設定するものです。



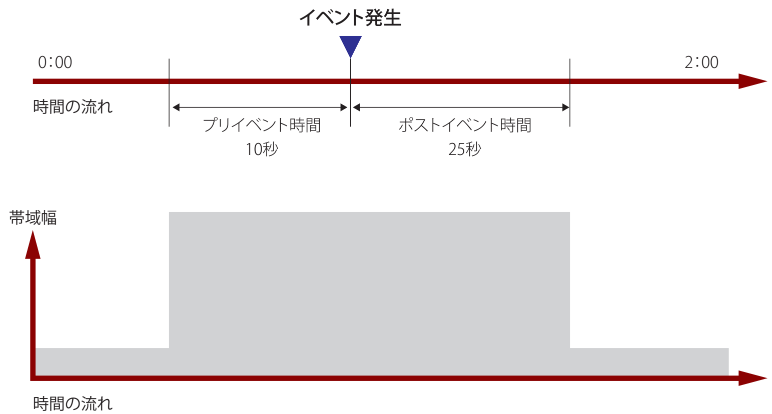
この場合、イベント発生の10秒前から録画映像の保存を開始し、イベント発生後25秒後まで録画映像を保存します。イベント発生の前後あわせて35秒の映像が保存されます。

●アクティビティ適用ストリーム

可能であれば アクティブに	上記で設定したイベント発生時の映像だけを、高密度なフレームレートで録画保存します。通常は低フレームレートで監視することで、ネットワークの帯域とHDDの領域を確保できます。
最小プリイベント 時間	カメラのキャッシュメモリは小さいため、プリイベント時間が短くなる恐れがあります。ここで最小プリイベント時間を設定することで、最小限のプリイベント時間を確保することができます。

アクティビティ適用ストリーム

イベント発生時の前後は、通常の低フレームレートとは異なる高いフレームレートの映像が録画されますので、イベント発生時の映像をより精度状態で確認することができます。

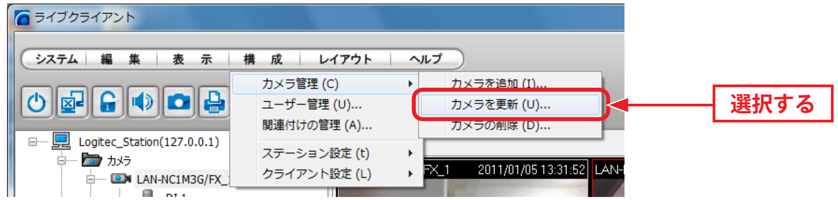


カメラを更新

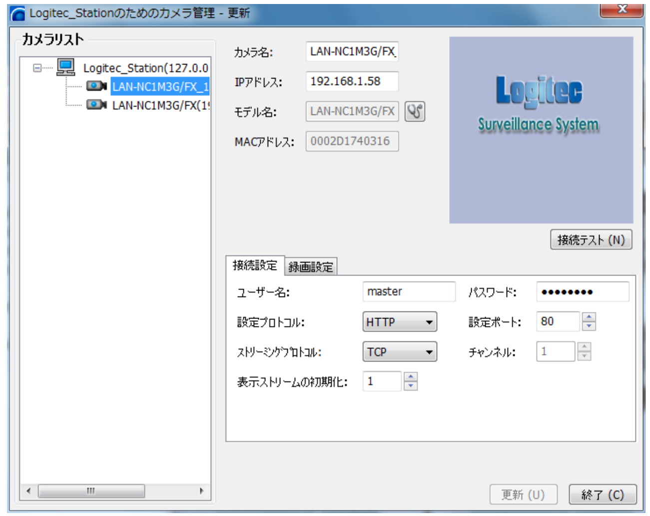
すでにNCライブクライアントに登録したカメラの設定を変更することができます。

画面の表示方法　[構成] ➡ [カメラ管理] ➡ [カメラを更新]

1 **メニューバーの[構成]→[カメラ管理]→[カメラを更新]を選択します。**



2 **[カメラリスト]から設定を変更したいカメラを選択します。**



• 選択したカメラの現在の設定が表示されます。

3 **設定を変更し、 更新 をクリックします。**

• 各項目の詳細については、P36「カメラを追加」をお読みください。

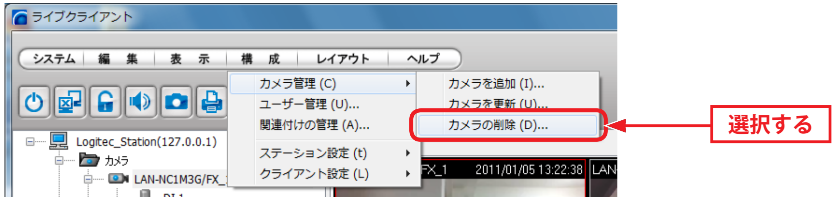
4 **終了 をクリックします。**

カメラの削除

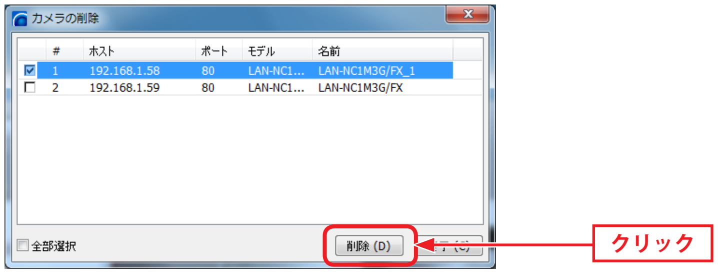
すでにNCライブクライアントに登録したカメラを削除します。

画面の表示方法　［構成］➡［カメラ管理］➡［カメラの削除］

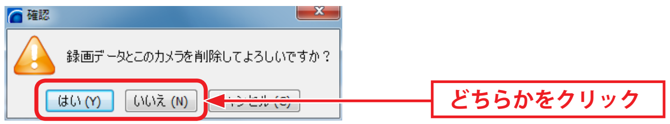
1 **メニューバーの［構成］→［カメラ管理］→［カメラの削除］を選択します。**



2 **削除したいカメラのチェックボックスをチェックし、 削除 をクリックします。**



3 **カメラと録画データの両方を削除する場合は、 はい をクリックします。**
カメラを削除し、録画データを残す場合は、 いいえ をクリックします。



5 **デバイスツリーからカメラが削除されます。**

8 構成メニュー　［ユーザー管理］

NCライブクライアントの機能を利用する複数のユーザーのアカウントを作成し、管理することができます。アカウントごとに「ユーザーの役割（ユーザー種別）」を選択できます。「ユーザーの役割」は「管理者」「パワーユーザー」「ユーザー」「オペレーター」「ゲスト」の5種類があり、使用できる機能が以下のように異なります。管理者がもっとも強い権限を持っています。また、初期値の設定からカスタマイズすることができます。

●［ユーザーの役割］と［許可］（初期値）

機能名	管理者	パワーユーザー	ユーザー	オペレーター	ゲスト	内容
ユーザー管理	○	○	○			ユーザーアカウントの管理
カメラ管理	○	○				カメラの追加と設定
関連付けの管理	○	○	○			関連付け設定の表示と変更
ステーションの一般設定	○	○				ステーションの一般設定を変更
ステーションネットワーク設定	○	○				ネットワーク設定の変更
録画グループ/録画スケジュール設定	○	○	○	○		録画グループと録画スケジュールの設定
録画グループ/録画スケジュール設定を変更	○	○	○			録画グループと録画スケジュール設定の変更
手動で録画	○	○	○	○		手動で録画機能の有効化
アクセスサーバー設定	○	○	○			サーバー設定の表示
サーバー設定の変更	○	○	○			サーバー設定の変更
クライアント設定	○	○	○	○		クライアント設定（スナップショット、AVIなど）
ディレクトリの変更	○	○	○			ディレクトリの追加、削除、名前の変更
カメラを削除	○	○				ステーションからカメラを削除
PTZコントロール	○	○	○	○		PTZカメラの制御
デバイス制御	○	○	○	○		カメラのデジタル出力の設定
通話コントロール	○	○	○	○		カメラの2方向オーディオ機能
カメラ構成	○	○	○			カメラ設定の表示と変更
イベント検索	○	○	○	○		内蔵サーチエンジンによるイベント検索
ログビューアー	○	○	○	○		内蔵サーチエンジンによるログ検索
メディアのエクスポート	○	○	○	○		再生ストリームのローカルファイルへのエクスポート

●［アクセス可能カメラ］

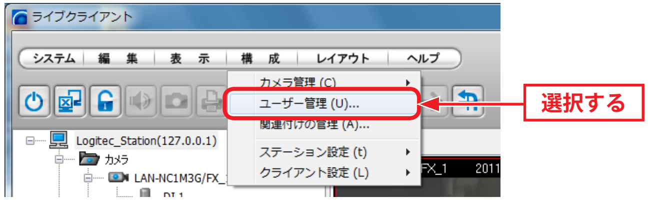
ユーザーの役割ごとにアクセスできるカメラを選択することができます。初期値はすべての「ユーザーの役割」で、すべてのカメラにアクセスすることができます。

新しいユーザーアカウントの作成

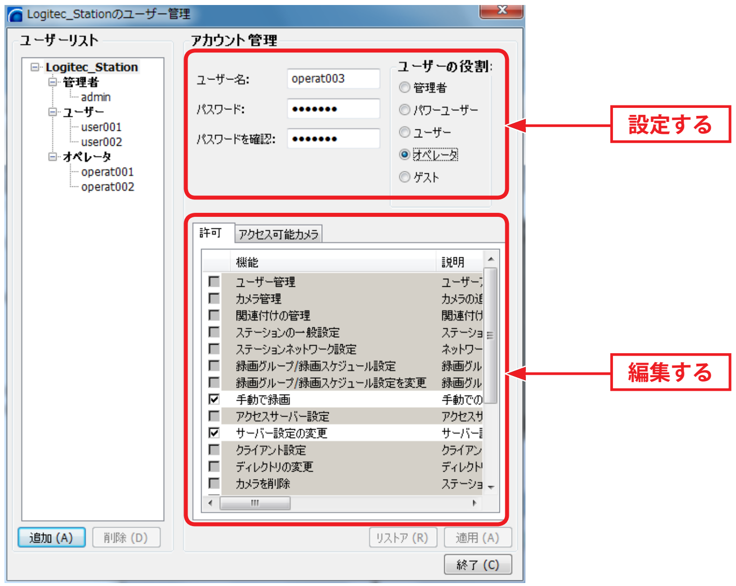
画面の表示方法　［構成］➡［ユーザー管理］

管理者の権限は変更できません
管理者にはすべての機能を使用できる権限があります。権限を変更することはできません。
また、必ず管理者の権限を持ったユーザーがひとり必要です。

1 メニューバーの［構成］→［ユーザー管理］を選択します。

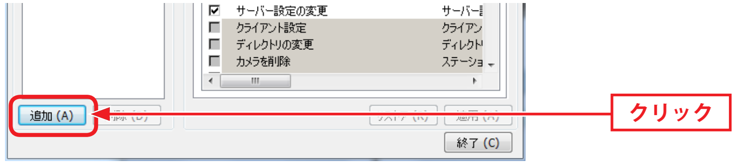


2 ［ユーザーの役割］を選択し、ユーザー名とパスワードを入力します。必要に応じて、［許可］と［アクセス可能カメラ］を編集します。

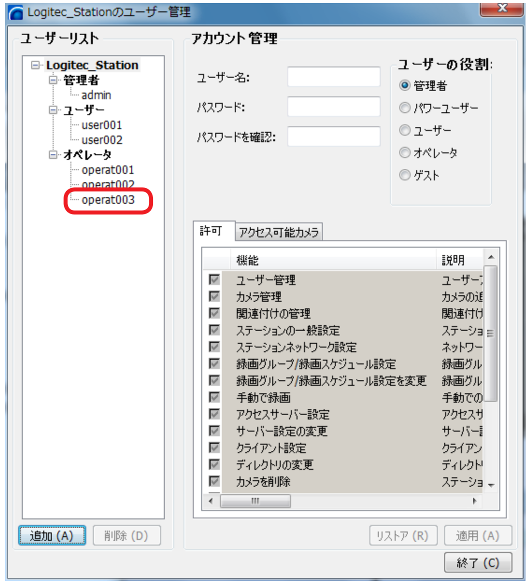


• 各設定項目の詳細についてはP43をお読みください。

3 設定が終われば、［追加］をクリックします。



4 新しいユーザーのアカウントが［ユーザーリスト］に表示されます。



権限のない機能を使おうとすると画面が表示されます
ログインしているユーザーが［ユーザーの役割］で許可されていない機能を使おうとすると、右のような画面が表示されます。



ユーザー情報の変更/ユーザーアカウントの削除

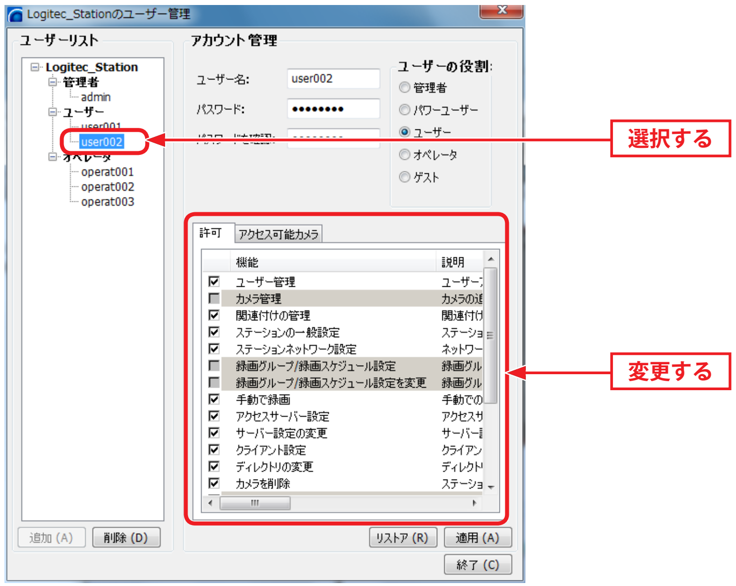
ユーザー情報の変更

登録したユーザーアカウントのユーザー情報を更新します。

画面の表示方法　［構成］➡［ユーザー管理］

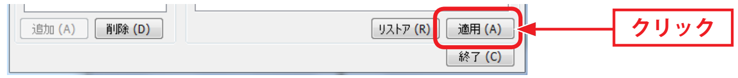
1 メニューバーの［構成］→［ユーザー管理］を選択します。

2 ［ユーザーリスト］で、ユーザー情報を変更したいユーザーアカウントを選択します。ユーザー情報が各項目に表示されますので、情報を変更します。



リストア について
ユーザー情報を変更している途中で、元の状態に戻したいときは、このボタンをクリックします。手順 **2** でユーザーを選択した時点の情報に戻ります。

3 情報を変更したら、**適用** をクリックします。



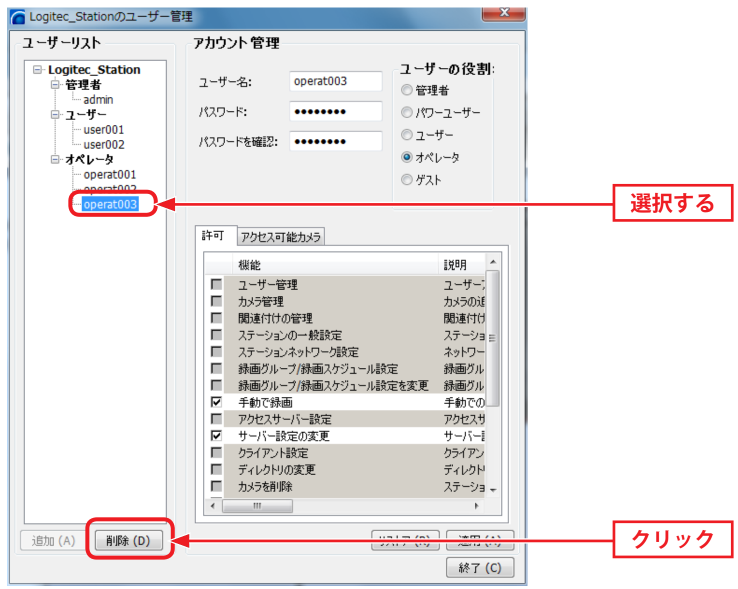
4 これでユーザー情報が更新されます。

ユーザーアカウントの削除

登録したユーザーアカウントを削除します。

画面の表示方法　［構成］➡［ユーザー管理］

1 ［ユーザーリスト］で、削除したいユーザーアカウントを選択し、**削除** をクリックします。



2 確認のメッセージが表示されたら、**OK** をクリックします。

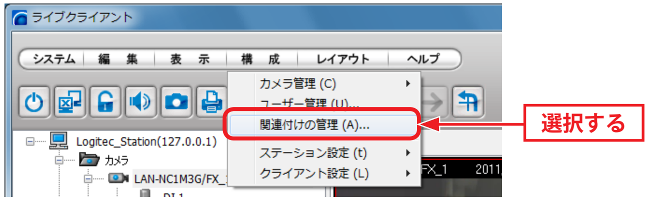
3 ［ユーザーリスト］から、選択したユーザーアカウントが削除されます。

9 構成メニュー　[関連付けの管理]

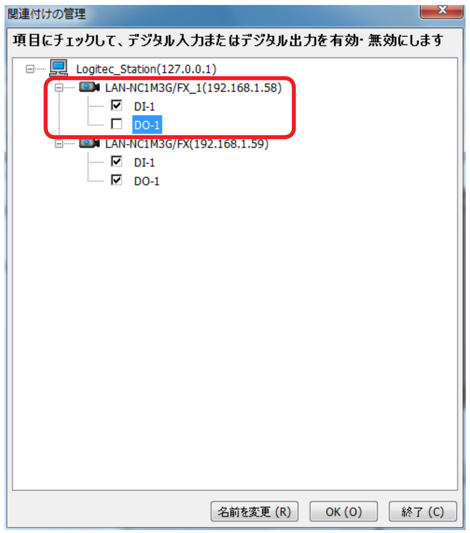
[関連付けの管理]では、各カメラのデジタル入力およびデジタル出力の有効/無効を設定できるほか、デジタル入出力の名称を管理しやすいように変更することができます。

画面の表示方法　[構成] ➡ [関連付けの管理]

1 **メニューバーの[構成]→[関連付けの管理]を選択します。**



2 **カメラの [+] をクリックするとDI（デジタル入力）/DO（デジタル出力）が表示されます。チェックボックスをオン/オフすることでデジタル入出力の有効/無効が設定できます。**

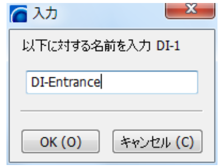


名前の変更

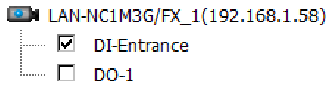
初期値の「DI-X」および「DO-X」の名称を管理しやすいように変更することができます。

①変更したいDIまたはDOを選択し、[名前変更]をクリックします。

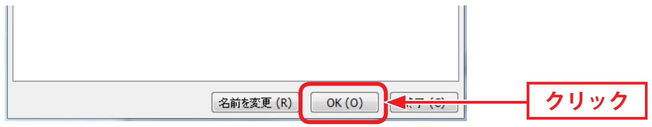
②〈入力〉画面が表示されますので、名称を入力し、[OK]をクリックします。



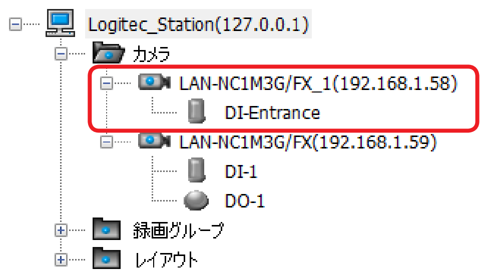
③変更した名前で表示されます。



3 **設定が終われば、[OK]をクリックします。**



4 **設定が変更され、デバイスツリーが更新されます。**



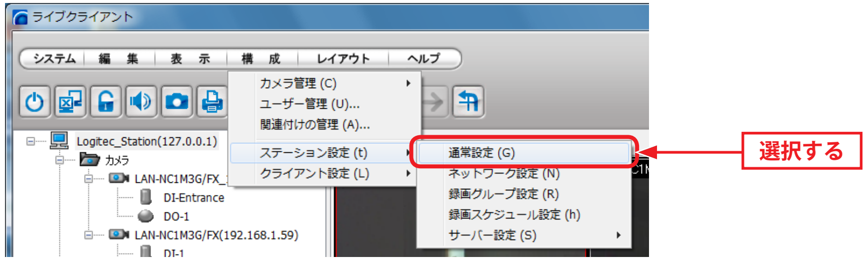
10 構成メニュー　［ステーション設定］

［ステーション設定］では、ステーションに関する設定をします。

通常設定	ステーション名の設定およびログに関する設定をします。	→P51
ネットワーク設定	ネットワークのポートおよびプロキシ設定をします。	→P52
録画グループ設定	録画グループに関する設定をします。	→P53
録画スケジュール設定	録画スケジュールの作成や編集をします。	→P59
サーバー設定	ネットワークストレージに関する設定をします。	→P71

通常設定

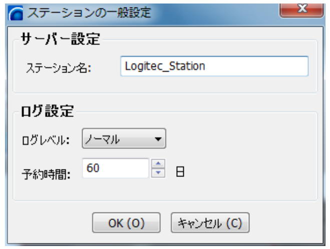
画面の表示方法　［構成］➡［ステーション設定］➡［通常設定］



※デバイスツリーのステーションアイコンを右クリックしても選択できます。

●設定を変更したら…

必ず OK をクリックして、設定を保存してください。



■サーバー設定

ステーション名	NCライブクライアントのステーション名を設定します。デバイスツリーなどに表示されます。初期値＝Logitec_Station

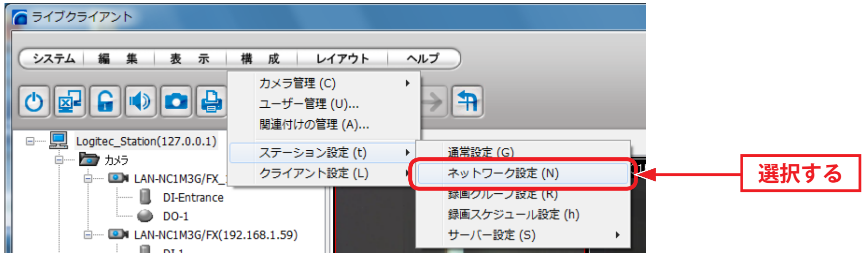
■ログ設定

NCプレイバックに保存されるログに関する設定をします。

ログレベル	保存するログレベルを設定します。 高：高レベルのログだけを保存します。 ノーマル：高レベルおよびノーマルレベルのログを保存します。 低：すべてのログを保存します。 初期値＝ノーマル
予約時間	ログを保存する期間（日数）を設定します。初期値＝60日

ネットワーク設定

画面の表示方法　［構成］➡［ステーション設定］➡［ネットワーク設定］



※デバイスツリーのステーションアイコンを右クリックしても選択できます。

●設定を変更したら…

ポート設定とプロキシ設定のそれぞれに［適用］ボタンがあり、設定を変更するとボタンが青色に変わります。変更した設定の［適用］をクリックして、設定を保存してください。



■ポート設定

サーバーおよびRTSPのポートを設定します。ポート設定を間違えるとネットワークから情報が漏えいする恐れがありますのでご注意ください。
初期値＝サーバーポート：3454、RTSPポート：554

■プロキシ設定

プロキシを使用する場合に設定します。

プロキシを有効化	プロキシ設定を有効にします。この項目をオンにすると、各項目が入力可能になります。
IPアドレス	プロキシサーバーのIPアドレスを入力します。
ポート	使用するポート番号を指定します。
ユーザー名	プロキシサーバーに接続するためのユーザー名を入力します。
パスワード	プロキシサーバーに接続するためのパスワードを入力します。

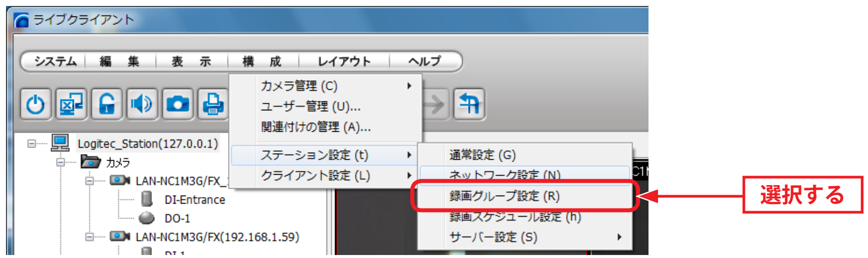
■ボタンの機能

適用	設定を変更した場合に、このボタンをクリックして設定を保存します。設定を変更し、このボタンをクリックする必要がある場合、ボタンの色が変化します。
終了	画面を閉じます。

録画グループ設定

録画グループ「DefaultGroup」の録画データの保存場所を変更したり、録画グループに所属するカメラを選択することができます。なお、本製品に付属するNCライブクライアントには、録画グループを新規作成する機能はありません。

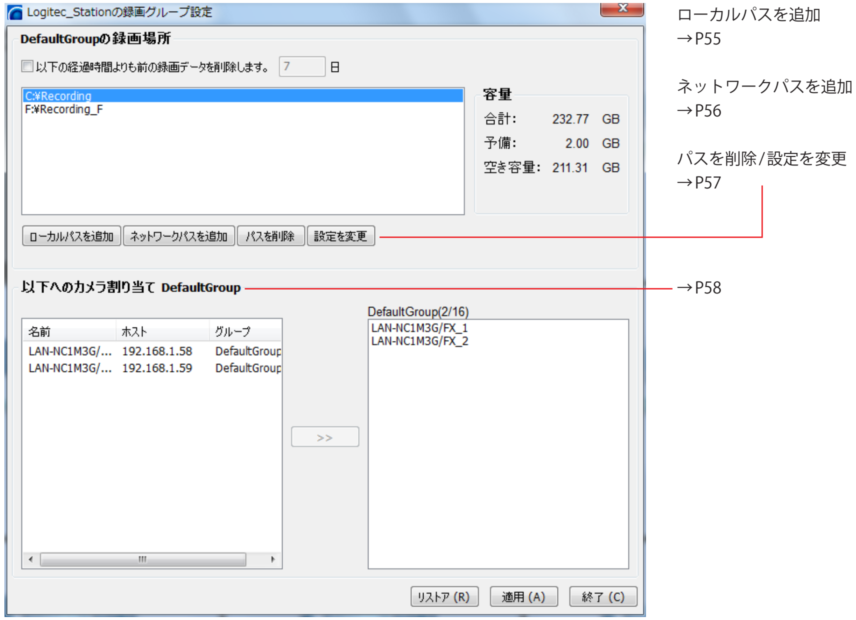
画面の表示方法　［構成］➡［ステーション設定］➡［録画グループ設定］



※デバイスツリーのステーションアイコンを右クリックしても選択できます。

●設定を変更したら…

必ず［適用］をクリックして、設定を保存してください。



■以下の経過時間よりも前の録画データを削除します。

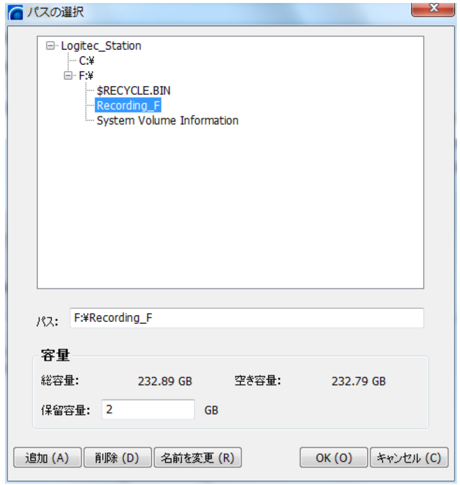
設定した日数を超えた録画データを自動的に削除します。初期値は7日間です。設定を変更する場合は、チェックボックスをオンにしてから、日数を入力します。

■ボタンの機能

リストア	設定を変更している途中で、元の状態に戻したいときは、このボタンをクリックします。この画面を開いた時点の状態に戻ります。
適用	設定を変更した場合に、このボタンをクリックして設定を保存します。
終了	画面を閉じます。

ローカルパスを追加

ステーションがあるパソコンのハードディスクに録画データを保存します。初期値では、Cドライブの「Recording」フォルダです。



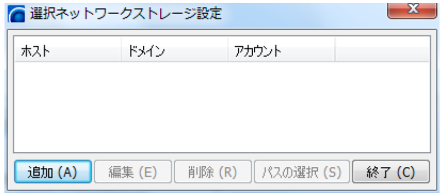
■操作手順

❶ ローカルパスを追加 をクリックします。
❷ 追加したいドライブのフォルダを選択します。
・ 追加 をクリックすると、選択したドライブ/フォルダの下層に新規フォルダを作成できます。
❸ 保留容量を設定し、OK をクリックします。

パス	ツリーで選択したフォルダのパスが表示されます。
保留容量	録画データの保存用に確保する容量を設定します。
追加	新規フォルダを作成します。ツリーで、フォルダを作成したいドライブ/フォルダを選択し、追加 をクリックします。〈入力〉画面でフォルダ名を入力し、[OK]ボタンをクリックします。
削除	フォルダを削除します。ツリーでフォルダを選択し、削除 をクリックします。確認の画面が表示されますので、OK をクリックします。
名前を変更	フォルダの名称を変更します。ツリーでフォルダを選択し、名前を変更 をクリックします。〈入力〉画面でフォルダ名を入力し、OK をクリックします。
OK	変更した設定を保存します。
キャンセル	変更した設定を保存せずに画面を閉じます。

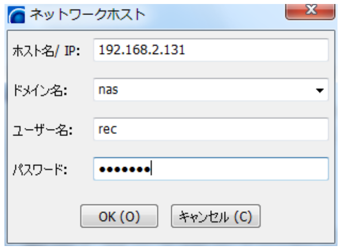
ネットワークパスを追加

ネットワーク上にあるストレージに録画データを保存することができます。



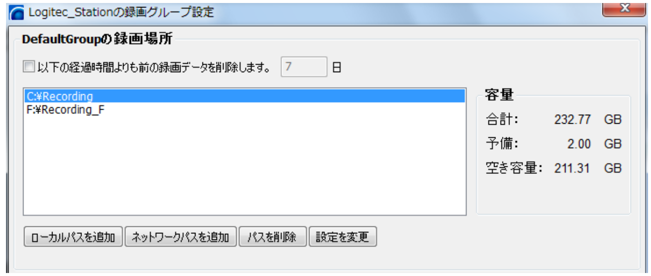
■操作手順

❶ ネットワークパスを追加 をクリックします。
❷ 追加 をクリックします。
❸ 必要な情報を入力し、OK をクリックします。



追加	ネットワークホストを追加します。
編集	ネットワークホストの設定を編集します。
削除	リストで選択したホストを削除します。
パスの選択	パスを選択します。
終了	画面を閉じます。

パスを削除/設定を変更



●パスを削除

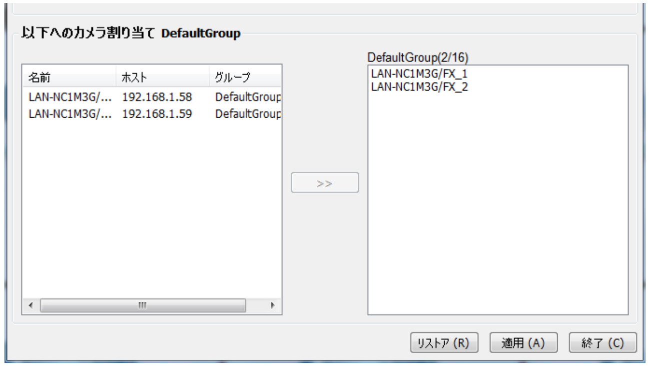
リストで選択したパスを削除します。削除を確認する画面が表示されますので、OK をクリックします。

●設定を変更

選択したパスの設定を変更できます。設定を変更すると、元の録画データが削除されることを確認する画面が表示されますので、OK をクリックします。

以下のカメラ割り当て DefaultGroup

初期値では、すべてのカメラが録画グループ（DefaultGroup）に登録されています。ここでは、登録されているカメラを削除したり、再登録する方法について説明します。録画グループから削除されたカメラについては、録画データファイルが作成されなくなります。



●録画グループからカメラを削除する

録画グループから削除したいカメラを［DefaultGroupt］で選択し、［<<］をクリックします。削除を確認する画面が表示されますので、［はい］をクリックします。［DefalutGroupt］からカメラが削除されます。変更した設定を保存する場合は、［適用］をクリックします。メイン画面のデバイスツリーで、選択したカメラが録画グループから削除されたことを確認できます。

●録画グループにカメラを登録する

左側のリストからグループに属さないカメラを選択し、［>>］をクリックします。［DefaultGroup］にカメラが登録されます。変更した設定を保存する場合は、［適用］をクリックします。登録されたカメラは、メイン画面のデバイスツリーで確認することができます。

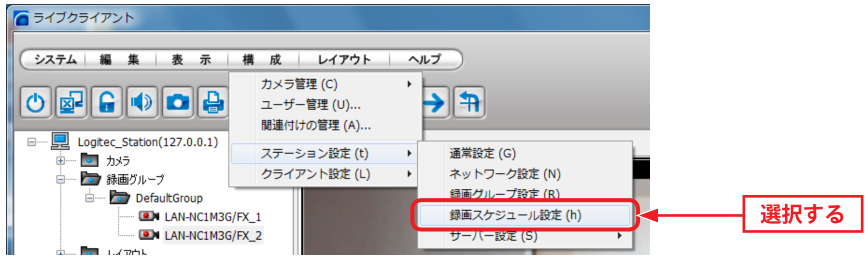
録画スケジュール設定

カメラが撮影した映像をスケジュールに従って録画することができます。スケジュールは、〈録画スケジュール〉画面で設定できます。
初期値では、NCライブクライアントに登録されたすべてのカメラの映像を毎日24時間連続で記録します。ご使用の環境にあわせてご自分で録画スケジュールを作成することができます。
録画スケジュールは、複数作成することできます。また、カメラごとに異なる録画スケジュールを設定することもできます。
録画グループから削除したカメラには、録画スケジュールを設定できません。

映像の保存期間について

記録された映像は、ハードディスクの映像が保存できる空き容量がなくなるまで、古い映像から上書きされます。

画面の表示方法　［構成］➡［ステーション設定］➡［録画スケジュール設定］

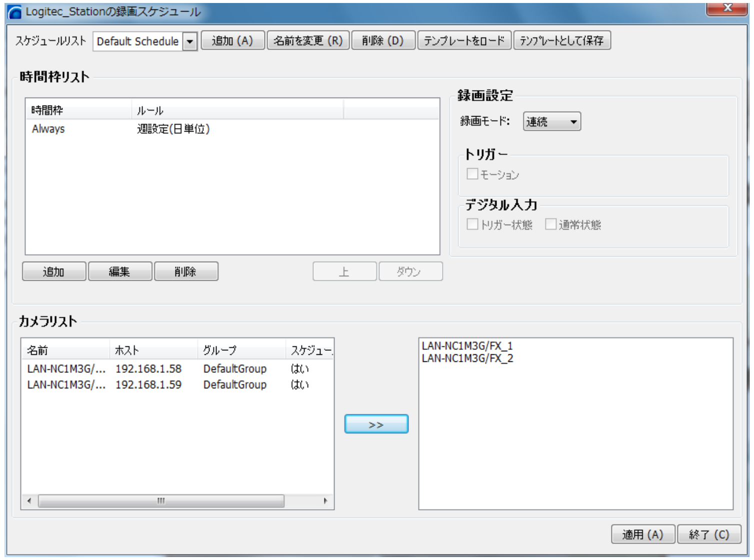


※デバイスツリーのステーションアイコンを右クリックしても選択できます。

●設定を変更したら…

必ず［適用］をクリックして、設定を保存してください。

録画スケジュール画面のリファレンス



■項目の内容

スケジュールリスト	録画スケジュールを選択できます。
時間枠リスト	選択中の録画スケジュールで使用できる時間枠を表示します。複数ある場合、上のほうが優先度が高くなります。
録画モード※	なし：録画しません。 連続：時間枠で録画対象に設定された時間帯は、連続で録画します。 イベント：時間枠で録画対象に設定された時間帯にイベントが発生した場合に録画します。録画時間は〈カメラ管理-追加-〉画面の［録画設定］によります（→P39）。
トリガー	［録画モード］を［イベント］に設定したときに有効です。 本製品の「モーション検知」機能を利用し、トリガーが発生する設定になっている場合、モーション検知のトリガーを使用することができます。
デジタル入力	［録画モード］を［イベント］に設定したときに有効です。 「DI（デジタル入力）」のステータスを選択します。
カメラリスト	左側の枠：同じステーションに登録されているカメラのリストです。 右側の枠：この録画スケジュールを使用するカメラのリストです。 ●この録画スケジュールを使用するには 左側の枠でカメラを選択し、 >> をクリックします。カメラ名が右側の枠に表示されます。 ●この録画スケジュールの使用を中止するには 右側の枠でカメラを選択し、 << をクリックします。右側の枠からカメラ名が削除されます。他の録画スケジュールを使用するカメラは削除してください。

※時間枠リストで対象になる時間枠を選択した状態にしておかないと項目が有効になりません。

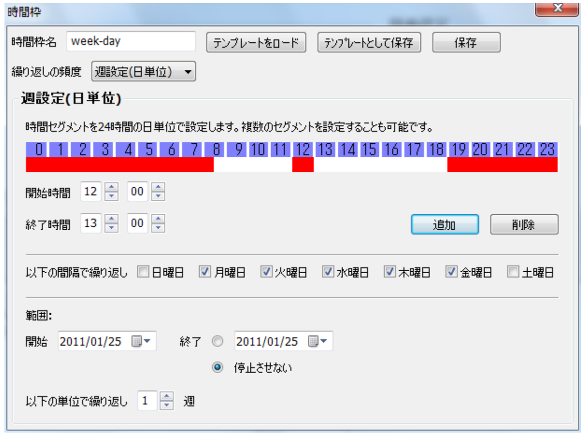
■録画スケジュールのボタン

追加	新しい録画スケジュールを作成します。
名前を変更	表示中の録画スケジュールの名称を変更します。入力画面が表示されますので、新しい名称を入力し、 OK をクリックしてください。
削除	表示中の録画スケジュールを削除します。確認画面が表示されますので、 OK をクリックしてください。
テンプレートをロード	保存したテンプレートを読み込みます。
テンプレートとして保存	表示中の録画スケジュールリストをテンプレートとしてファイルに保存します。
適用	設定を保存します。
終了	画面を閉じます。

■時間枠のボタン

追加	新しい時間枠を作成します。
編集	選択中の時間枠の設定を変更します。
削除	選択中の時間枠を削除します。
上	時間枠が複数ある場合、選択中の時間枠をリストの上位へ移動します。優先度が高くなります。
ダウン	時間枠が複数ある場合、選択中の時間枠をリストの下位へ移動します。優先度が低くなります。

時間枠画面のリファレンス



■項目の内容

時間枠名	設定する時間枠に付ける名称です。時間枠リストに表示されます。半角英数字で作成してください。
繰り返しの頻度	曜日単位で1週間分を設定できる[週設定（日単位）]と、1日単位で設定できる[日設定]から選択できます。
開始時間※	時間枠の開始時間を設定します。[▼][▲]をクリックするか、数値を入力してください。
終了時間※	時間枠の終了時間を設定します。[▼][▲]をクリックするか、数値を入力してください。
以下の間隔で繰り返し	[週設定（日単位）]でのみ表示される項目です。 録画を実行する日を曜日単位で選択できます。録画を実行する曜日は、各曜日の先頭にあるチェックボックスをオンにします。
範囲	この時間枠を使用する期間を設定します。初期値は[停止させない]で、動画の保存先であるパソコンやサーバーが起動している限り、この時間枠が使用されます。 時間枠を一定の期間だけ使用する場合は、[開始]と[終了]で日付の範囲を設定します。
以下の単位で繰り返し	この時間枠を使用する間隔を設定します。「1」に設定した場合、[繰り返しの頻度]が[週設定（日単位）]なら毎週、[日設定]なら毎日になります。

■ボタンの機能

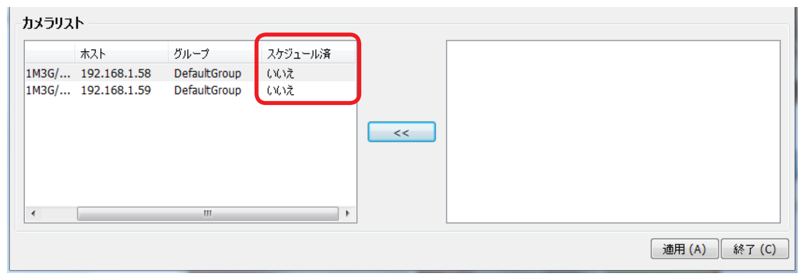
テンプレートをロード	保存したテンプレートを読み込みます（→P70）。
テンプレートとして保存	現在の設定をテンプレートとして保存します（→P70）。
保存	時間枠設定を保存します。保存すると時間枠リストに表示されます。
追加	設定した[開始時間]と[終了時間]を登録し、グラフに赤色で表示します。グラフの赤色の部分が録画対象の時間帯になります。
削除	録画対象の時間帯（グラフの赤色部分）を削除します。グラフ上で削除したい時間帯をクリックし、このボタンをクリックしてください。

録画スケジュールの新規登録

新しい録画スケジュールを作成します。

カメラの録画スケジュールの解除
すでにカメラが「Default Schedule」など既存の録画スケジュールを利用している場合は、先に既存の録画スケジュールを使用しないように設定を変更してください。

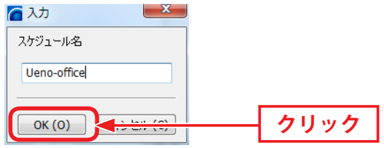
①[スケジュールリスト]で、使用中の録画スケジュールを開きます。
②[カメラリスト]の右側の枠で、新しい録画スケジュールを使用するカメラを選択し、 << をクリックします。
③右側の枠からカメラ名が削除され、左側の枠で[スケジュール済]が[いいえ]になっていることを確認します。



1 ［スケジュールリスト］の右にある 追加 をクリックします。



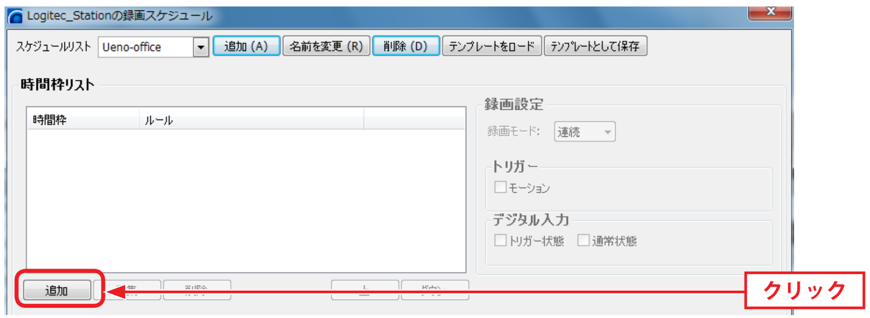
2 新しい録画スケジュールの名称を入力し、 OK をクリックします。



- 名称は半角英数字で作成してください。
- ［スケジュールリスト］の名称が手順 2 で入力した名称に変わります。



3 ［時間枠リスト］にある 追加 をクリックします。



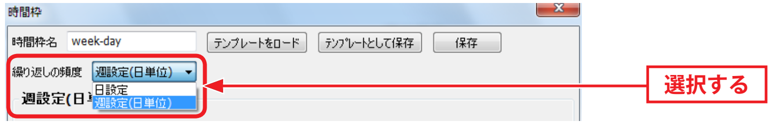
- 〈時間枠〉画面が表示されます。

4 ［時間枠名］に名称を入力します。



- 時間枠リストに表示されます。半角英数字で作成してください。

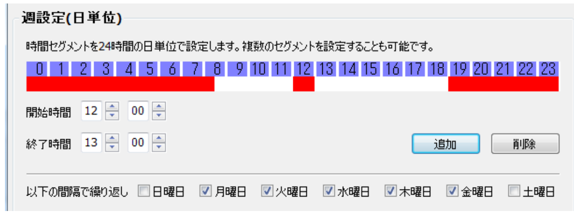
5 ［繰り返しの頻度］を選択します。



繰り返しの頻度	曜日単位で1週間分を設定できる［週設定（日単位）］と、1日単位で設定できる［日設定］から選択できます。

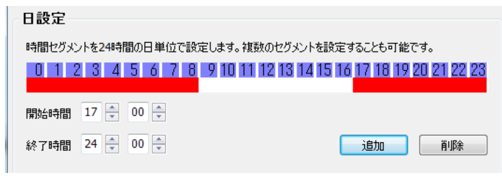
6 録画を実行する曜日と時間を設定します。

●［週設定（日単位）］の場合



①録画対象にする時間を設定します。（時間の設定方法は、下記のMEMO参照）
②録画対象にする曜日を設定します。曜日名の前のチェックボックスをオンにした曜日が録画対象となります。

●［日設定］の場合

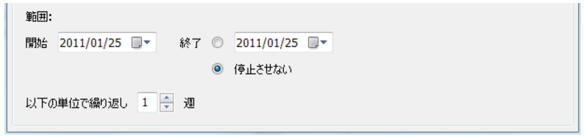


- 録画対象となる時間帯を設定します。（時間の設定方法は、下記参照）

時間の設定方法

●［開始時間］と［終了時間］を設定します。［▼］［▲］をクリックするか、数値を入力します。
●複数の時間帯を登録することができます。
例えば、1日のうちに「8：00〜12：00と13:00〜18:00」や「0：00〜7：00と19：00〜24：00」など複数の時間帯で録画するといった設定も可能です。

7 時間枠の適用期間を設定します。



範囲	この時間枠を使用する期間を設定します。初期値の[停止させない]を選択すると、動画の保存先であるパソコンやサーバーが起動している限り、この時間枠が使用されます。 時間枠を一定の期間だけ使用する場合は、[開始]と[終了]で日付の範囲を設定します。
以下の単位で繰り返し	この時間枠を使用する間隔を設定します。「1」に設定した場合、[繰り返しの頻度]が[週設定(日単位)]なら毎週、[日設定]なら毎日になります。

8 保存 をクリックします。

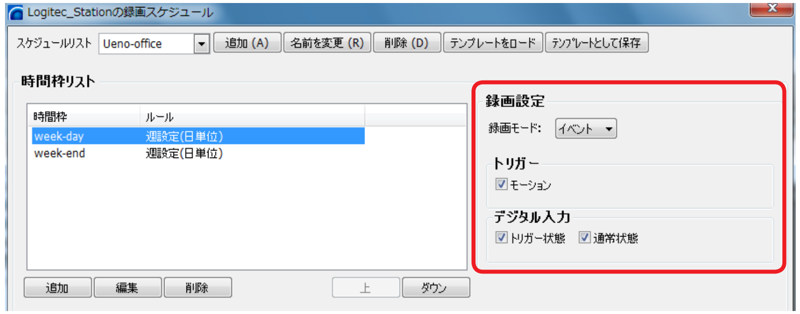


- 〈時間枠〉画面が閉じます。
- 〈録画スケジュール〉画面の[時間枠リスト]に、作成した時間枠が表示されます。

時間枠リストに複数の時間枠がある場合

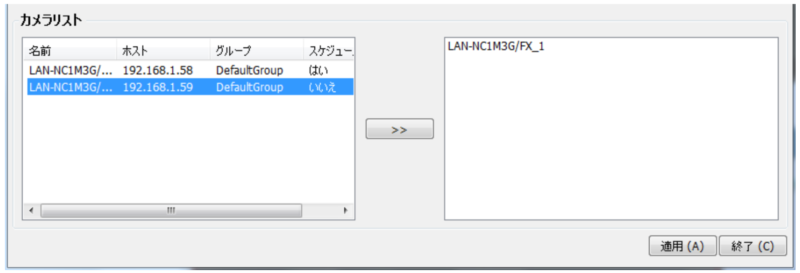
リストの時間枠を選択し、 上 ダウン をクリックすると、順位を変更することができます。上位の時間枠ほど優先度が高くなります。

9 必要に応じて[録画設定]を設定します。



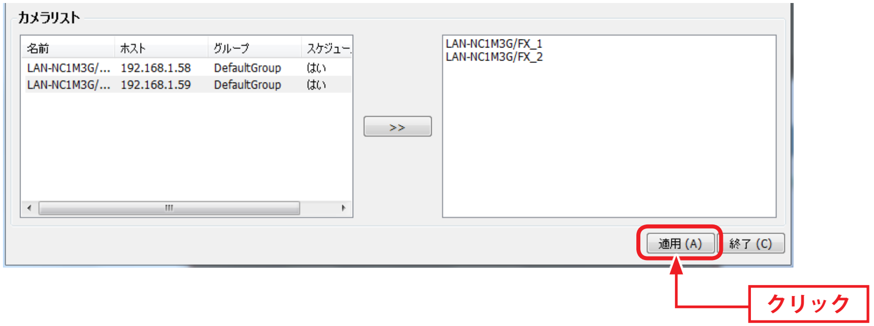
録画モード※	なし：録画しません。連続：時間枠で録画対象に設定された時間帯は、連続で録画します。 イベント：時間枠で録画対象に設定された時間帯にイベントが発生した場合に録画します。録画時間は〈カメラ管理-追加-〉画面の[録画設定]によります(→P39)。
トリガー	[録画モード]を[イベント]に設定したときに有効です。 本製品の「モーション検知」機能を利用し、トリガーが発生する設定になっている場合、モーション検知のトリガーを使用することができます。
デジタル入力	[録画モード]を[イベント]に設定したときに有効です。 「DI(デジタル入力)」のステータスを選択します。

10 [カメラリスト]で、この録画スケジュールの対象となるカメラを選択します。



❶ 左側の枠内で、この録画スケジュールを利用するカメラを選択し、 >> をクリックします。
❷ 右側の枠内にカメラ名が表示されます。
❸ 複数のカメラが対象となる場合は、同じように選択します。

11 **適用** **をクリックします。**



12 **これで録画スケジュールが登録されました。** **終了** **をクリックします。**

録画した映像を再生するには

本製品の付属のWindowsソフト「NCプレイバック」を使用します。詳しくはP81「NCプレイバック 操作編」をお読みください。

「録画スケジュール」でのテンプレートの作成と活用

「録画スケジュール」の設定をテンプレートとして保存することができます。バックアップのかわりにもなります。保存したテンプレートは、後で簡単に読み込むことができます。

■「録画スケジュール」のテンプレートを保存する

❶〈録画スケジュール〉画面を表示します。
❷［スケジュールリスト］で、テンプレートとして保存したい録画スケジュールを選択します。
❸ テンプレートとして保存 をクリックします。
❹〈ファイルを保存〉画面が表示されますので、保存先とファイル名を指定し、保存 をクリックします。

■「録画スケジュール」のテンプレートをロードする

新しい録画スケジュールを作成するときにテンプレートを使用できます。既存の録画スケジュールで使用した場合、既存の設定は、テンプレートの設定により上書きされます。

❶〈録画スケジュール〉画面を表示します。
❷ 追加 をクリックします。
❸ スケジュール名を入力し、OK をクリックします。
❹ テンプレートをロード をクリックします。
❺〈ファイルをロード〉画面が表示されますので、テンプレートの保存先とファイル名を指定し、開く をクリックします。
❻ テンプレートが読み込まれます。

「時間枠」でのテンプレートの作成と活用

「時間枠」の設定をテンプレートとして保存することができます。バックアップのかわりにもなります。保存したテンプレートは、後で簡単に読み込むことができます。

■「時間枠」のテンプレートを保存する

❶〈録画スケジュール〉画面を表示します。
❷ 既存の時間枠の場合は、[時間枠リスト]でテンプレートとして保存したい時間枠を選択し、 編集 をクリックします。
新規作成する時間枠の場合は、 追加 をクリックします。
❸ テンプレートとして保存 をクリックします。
・ 新規作成の場合は、先に時間枠を設定してからクリックします。
❹〈ファイルを保存〉画面が表示されますので、保存先とファイル名を指定し、 保存 をクリックします。

■「時間枠」のテンプレートをロードする

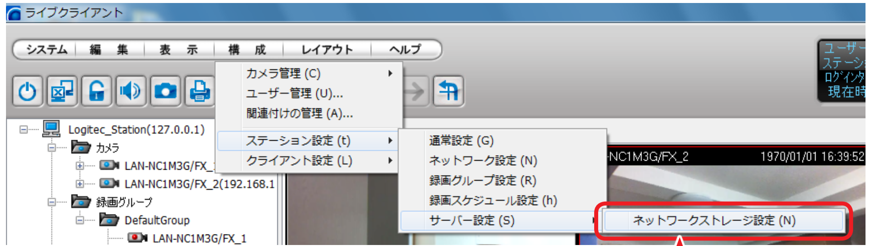
新しい時間枠を作成するときに、テンプレートを利用することができます。既存の時間枠で使用した場合、既存の設定はテンプレートの設定により上書きされます。

❶〈録画スケジュール〉画面を表示します。
❷ 追加 をクリックします。
❸ 時間枠名を入力します。
❹ テンプレートをロード をクリックします。
❺〈ファイルをロード〉画面が表示されますので、テンプレートの保存先とファイル名を指定し、 開く をクリックします。
❻ テンプレートが読み込まれます。

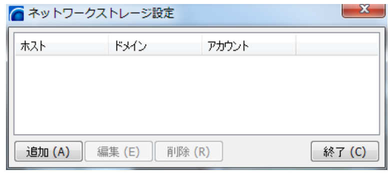
サーバー設定

ネットワーク上にあるストレージをサーバーとして設定することができます。録画映像のファイルはここで設定したサーバーに保存されます。

画面の表示方法　[構成] ➡ [ステーション設定] ➡ [サーバー設定]

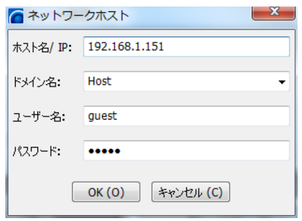


※デバイスツリーのステーションアイコンを
　右クリックしても選択できます。



■操作手順

❶ 追加 をクリックします。
❷ 必要な情報を入力し、 OK をクリックします。



追加	ネットワークホストを追加します。
編集	ネットワークホストの設定を編集します。
削除	リストで選択したホストを削除します。
終了	画面を閉じます。

11 構成メニュー　［クライアント設定］

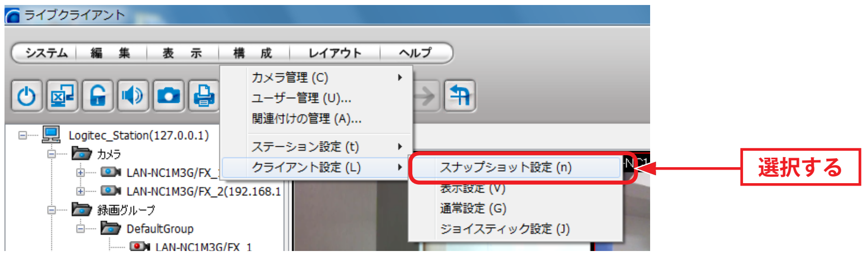
［クライアント設定］では、クライアント関連の設定をします。

スナップショット設定	スナップショットの基本設定をします。	→P72
表示設定	ビューウィンドウのセルの表示を設定をします。	→P74
通常設定	NCライブクライアントの基本機能を設定します。	→P76
ジョイスティック設定	本製品（LAN-NC1M3G/FX）では、ご使用になれません。	―

スナップショット設定

スナップショットの基本設定をします。

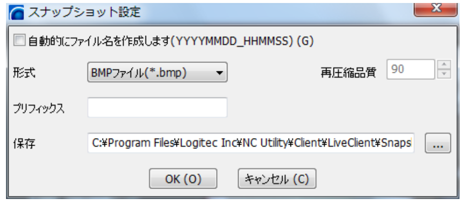
画面の表示方法　［構成］➡［クライアント設定］➡［スナップショット設定］



※ビューウィンドウで映像の表示されたセルを右クリックしても選択できます。

●設定を変更したら…

必ず OK をクリックして、設定を保存してください。

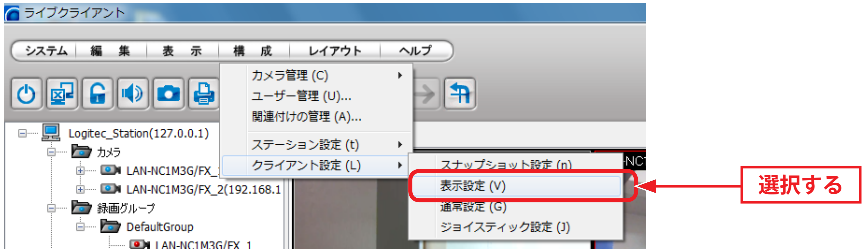


自動的にファイル名を作成します（YYYYMMDD_HHMMSS）	この項目をチェックすると、スナップショットに自動的に以下の形式でファイル名が付きます。 （例）XXXXXXX_20110315_221734_XX.jpg （XXXXXXX＝プリフィックス、20110315_221734＝日時、XX＝スナップショットの通し番号、jpg＝ファイル形式） 初期値＝オフ
形式	スナップショットの画像形式をBMPとJPEGから選択できます。初期値＝BMPファイル
再圧縮品質	JPEGの選択時に、圧縮品質を設定できます。初期値＝90
プリフィックス	ファイル名の先頭に指定した文字列を付けます。
保存	スナップショットの保存先を指定します。初期値はNCライブクライアントのプログラムフォルダ内にあります。

表示設定

ビューウィンドウに表示される映像のセルに関する基本機能を設定します。

画面の表示方法　［構成］➡［クライアント設定］➡［表示設定］



●設定を変更したら…

必ず OK をクリックして、設定を保存してください。



■表示位置

4つのエリアに各種情報を表示することができます。カメラ名/ビデオタイトル/カメラ日付/カメラ時間/カメラ日時/表示なしの6種類から選択できます。



初期値＝表示エリア1：カメラ名、表示エリア2：カメラ日時、
表示エリア3：ビデオタイトル、表示エリア4：表示なし

■日時の形式

ローカルコンピュータと同じ（初期値）	NCライブクライアントをインストールしたパソコンの時刻形式と同じ日時形式になります。
指定	日時形式を指定します。 日付の形式：YYYY/MM/DD、MM/DD/YY 時間形式：デフォルトの時間形式、12h AM/PM、24h

■フォント設定

表示される文字のフォント、色、サイズを選択できます。

フォント	リストに表示されるフォントから選択できます。 初期値＝System
カラー	白・赤・緑・青の4色から選択できます。　初期値＝白
サイズ	フォントのサイズを選択できます。　初期値＝10

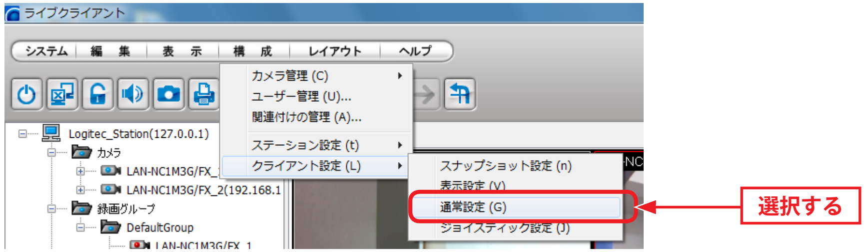
■ビデオ表示モード

縦横比の保持	ビューウィンドウのレイアウトを変更しても、常に映像の縦横比を一定に保持した状態で表示します。
トリガーが発生すると、モーションウィンドウを表示します	イベントのトリガーが発生すると、赤枠のモーション検出ウィンドウが表示されます。

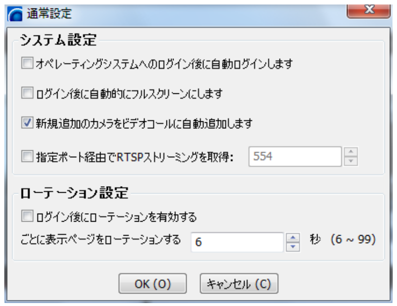
通常設定

NCライブクライアントの基本的な機能を設定します。

画面の表示方法　［構成］➡［クライアント設定］➡［通常設定］



●設定を変更したら…
必ず［OK］をクリックして、設定を保存してください。



■システム設定

●オペレーティングシステムのログイン後に自動ログインします
Windowsへログインしたあと、NCライブクライアントに自動ログインします。
初期値＝オフ

●ログイン後に自動的にフルスクリーンにします
NCライブクライアントを起動し、ログインすると、ビューウィンドウがフルスクリーンで表示されます。　初期値＝オフ

●新規追加のカメラをビデオコールに自動追加します
NCライブクライアントにカメラを新しく追加すると、そのカメラの映像が自動的にビューウィンドウのセルに表示されます。
初期値＝オン

●指定ポート経由でRTSPストリーミングを取得
RTSPストリーミングを利用する場合のポート番号を初期値（554）から変更する場合は、チェックボックスをオンにして、ポート番号を指定します。
初期値＝オフ、ポート番号：554

■ローテーション設定

ビューウィンドウが2ペ―ジ以上ある場合、一定の秒数ごとにページを切り替える「ローテーション」に関する設定をします。

●ログイン後にローテーションを有効にする
NCライブクライアントにログインした時点でローテーションを有効にします。

●ごとに表示ページをローテーションする
ここで設定した秒数ごとに表示ページをローテーションします。　初期値＝6

12 レイアウト メニュー

ビューウィンドウのレイアウトに関する設定をします。

ローテーションの開始/停止	ビューウィンドウが2ページ以上ある場合、一定の秒数ごとにページを切り替えます。ローテーション中は「ローテーションを停止」が表示されます。	−
編集	レイアウトに関する設定を新規作成したり、編集したりします。	→P78
選択	登録済みのレイアウトの中から、使用したいレイアウトを選択できます。	→P79

レイアウトの編集

ビューウィンドウに表示されているセルのレイアウトを編集することができます。

現在のレイアウトを保存する

現在、ビューウィンドウに表示されているセルのレイアウトを保存します。

画面の表示方法　［レイアウト］➡［編集］➡［以下に保存］➡［新規］または既存ファイル名

■新規の場合

❶ メニューバーで［レイアウト］→［編集］→［以下に保存］→［新規］を選択します。
❷ レイアウト名を入力し、 OK をクリックします。
❸ レイアウトが保存されます。

■既存のファイルに上書きするとき

❶ メニューバーで［レイアウト］→［編集］→［以下に保存］→（既存のファイル名）を選択します。
❷ レイアウト情報が既存のファイルに上書きされます。

保存したレイアウトは、デバイスツリーの［レイアウト］や、メニューバーの［レイアウト］→［選択］で選ぶことができます。

ファイルを削除する

レイアウトを保存したファイルを削除します。

画面の表示方法　［レイアウト］➡［編集］➡［削除］

❶ メニューバーで［レイアウト］→［編集］→［削除］→（削除したいファイル名）を選択します。
❷ 削除を確認する画面が表示されますので、 OK をクリックします。
❸ ファイルが削除されます。デバイスツリーの［レイアウト］から削除されます。

レイアウトの選択

ファイルに保存されたレイアウトを呼び出します。

画面の表示方法　［レイアウト］➡［編集］➡［選択］➡ ファイル名

❶ メニューバーで［レイアウト］→［編集］→［選択］→（表示したいファイル）を選択します。
❷ ビューウィンドウが、選択したレイアウトに変更されます。

NCプレイバック
操作編

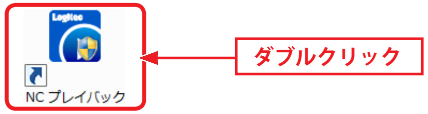
NCライブクライアントで録画した映像を閲覧したり、ログの管理ができる「NCプレイバック」の使用方法を説明しています。

1 NCプレイバックの起動と終了

NCプレイバックの起動方法と終了方法を説明します。

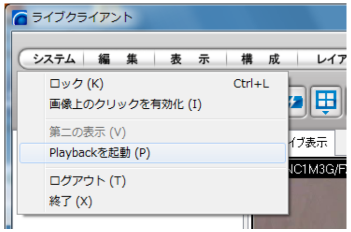
起動方法

1 **デスクトップ上にある[NC プレイバック]のショートカットアイコンをダブルクリックします。**



●NCライブクライアント上から起動する場合

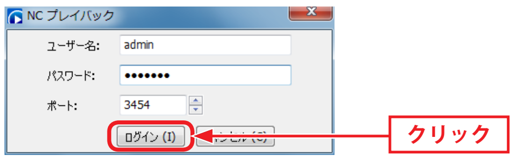
メニューバーの[システム]→[Playbackを起動]を選択します。



●Windows 7/Vistaの場合

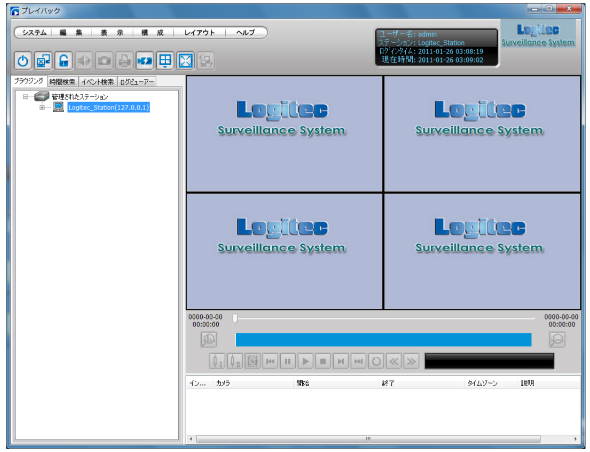
インストールプログラムを実行すると、〈ユーザー アカウント制御〉画面が表示されますので、Windows 7なら［はい］を、Windows Vistaなら［許可］をクリックします。

2 **ユーザー名とパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。**



• 初期値は、インストール時に設定したユーザー名とパスワードになります。

3 **NCプレイバックの〈メイン〉画面が表示されます。**



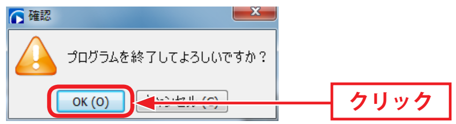
終了方法

1 **メニューバーの[システム]→[終了]を選択します。**



• 画面の［×］をクリックする方法およびツールバーの［⏻］アイコンをクリックする方法もあります。

2 **［OK］をクリックします。**



3 **NCプレイバックが終了します。**

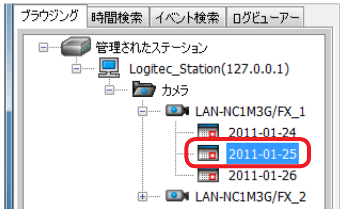
2　録画した映像を再生する

「NCライブクライアント」の録画スケジュールまたはイベント発生などにより録画された映像を再生します。カメラごとに1日単位でフォルダに保存されていますので、再生したい映像を簡単に探し出すことができます。

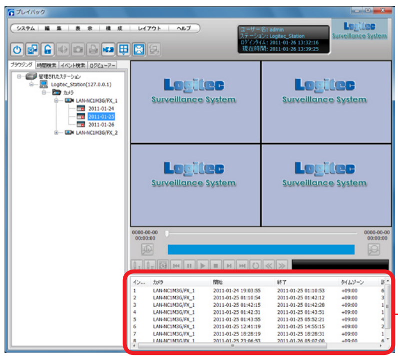
1　メイン画面で[ブラウジング]タブを表示します。



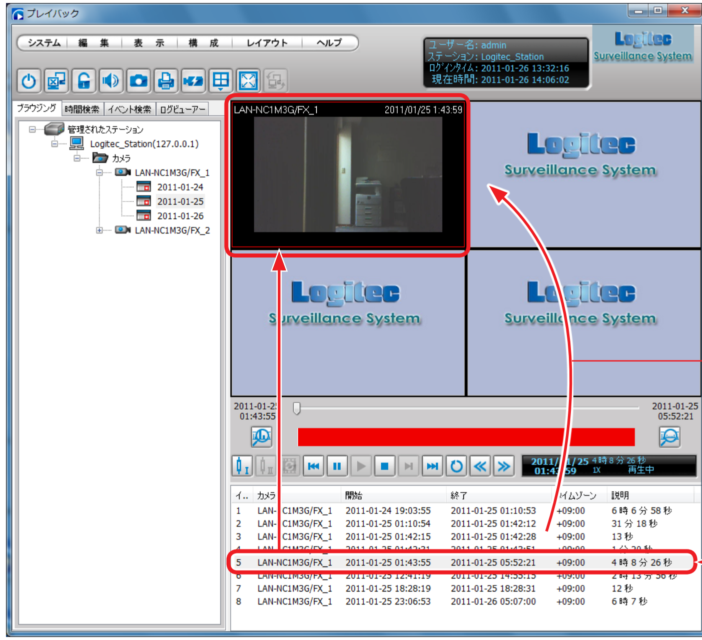
2　[ステーション]アイコン→[カメラ]フォルダ→映像を録画した[カメラ]→映像が録画された[日付]の順に選択します。



3　[リストウィンドウ]に、選択した日に録画された映像のリストが表示されます。



4　再生したい映像のリストをダブルクリックすると、ビューウィンドウのセルに表示されます。



- リストウィンドウからセルにドラッグ＆ドロップする方法もあります。
- この方法の場合、1日に複数の録画データがある場合、[リストウィンドウ]で選択した、映像だけが再生されます。
- 最大16の映像を同時に再生できます。

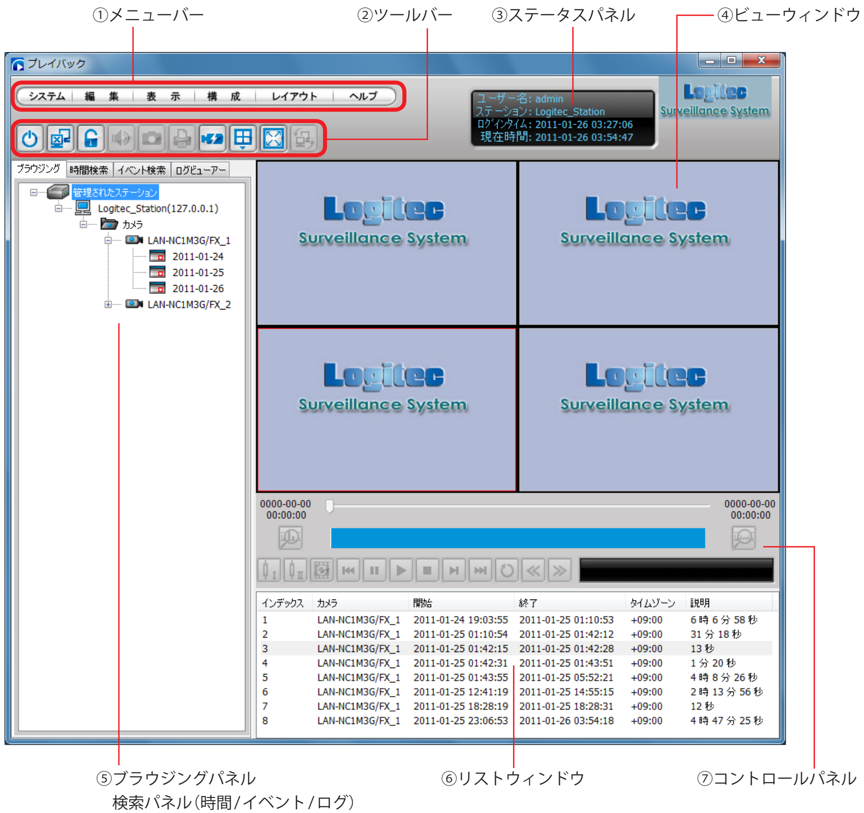
1日分の映像を連続で再生したい場合

1日分のすべての録画データを時間順に再生するには、以下のいずれかの操作をしてください。

・【ブラウジング】パネルの「日付」をビューウィンドウのセルにドラッグ＆ドロップする
・【ブラウジング】パネルの「日付」を右クリックし、ポップアップメニューの[再生]を選択する

3 メイン画面の機能

メイン画面



①	メニューバー	メニューのボタンをクリックすると、NCプレイバックの機能を一覧から選択できます。各メニューの説明は、P87「メニューバーの構成」をお読みください。
②	ツールバー	メニューバーの機能のうち、よく使う機能をアイコンボタンで表示しています。各ボタンの説明は、P88「ツールバーの構成」をお読みください。
③	ステータスパネル	ユーザー名/ステーション名/ログインした日時/現在の日時が表示されます。
④	ビューウィンドウ	録画した映像を再生できます。1×1、2×2、1＋5、3×3、1＋12、4×4に分割して表示できます。分割したひとつひとつの画面を「セル」と呼びます。
⑤	ブラウジングパネルほか	ブラウジング、時間検索、イベント検索、ログビューアーという4種類のタブで構成されたパネルです。
⑥	リストウィンドウ	1日分の録画映像の情報を一覧で表示します。
⑦	コントロールパネル	再生中の映像を操作できます。

メニューバーの構成

ここでは、メニューバーにある各メニューの概要を説明します。各メニューの詳細については、それぞれの参照ページをお読みください。

●システム メニュー　→P98に各機能の説明があります。

ロック	NCプレイバックの操作をロックすることができます。
LiveClientを起動	付属ソフト「NCプレイバック」を起動します。
ログアウト	現在のユーザーでのログインを終了します。
終了	NCプレイバックを終了します。

●編集 メニュー　→P100に各機能の説明があります。

スナップショット	ビューウィンドウで選択中（赤枠）の映像を静止画で保存できます。
印刷	映像を印刷することができます。
検索	【ブラウジング】パネルで、ステーションに接続されたカメラを検索することができます。

●表示 メニュー　→P105に各機能の説明があります。

状態のエクスポート	本製品（LAN-NC1M3G/FX）では、ご使用になれません。
時間検索	【時間検索】パネルの表示のオン/オフを選択できます。チェックマークが入っているときは表示されています。
イベントサーチ	【イベント検索】パネルの表示のオン/オフを選択できます。チェックマークが入っているときは表示されています。
ログビューアー	【ログビューアー】パネルの表示のオン/オフを選択できます。チェックマークが入っているときは表示されています。
フルスクリーン	現在表示中のビューウィンドウをフルスクリーンで表示します。キーボードの[ESC]キーで元の表示に戻ります。
最小化	NCプレイバックの画面を最小化します。

●構成 メニュー

クライアント設定	スナップショット、映像のエクスポート、セルの表示方法などを設定します。	→P106

●レイアウト メニュー

レイアウト変更	ビューウィンドウのセルの表示枚数を1×1、2×2、1＋5、3×3、1＋12、4×4から選択できます。	→P113

●ヘルプ メニュー

バージョン情報	NCライブクライアントのバージョン情報を表示します。

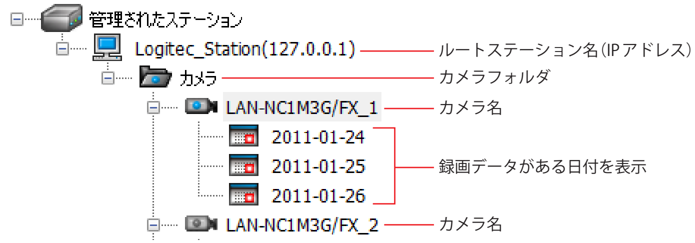
ツールバーの構成

ツールバーの各ボタンの機能について説明します。詳細な説明がある場合は、参照先をお読みください。

	NCプレイバックを終了します。詳しくはP83「終了方法」をお読みください。
	現在のユーザーでのログインを終了します。詳しくはP99「ログアウトとログイン」をお読みください。
	NCプレイバックの操作をロックします。詳しくはP98「ロック」をお読みください。
	ビューウィンドウで選択中（赤枠）の映像のモニター音量を調整できます。［すべてに適用］の項目をオンにした場合は、各セルに表示中の映像の音量をまとめて調整することができます。 ［ミュート］をオンにすると、音声が聞こえなくなります。 ミュート時はアイコンが に変わります。
	ビューウィンドウで選択中（赤枠）の映像を静止画で保存できます。詳しくはP100「スナップショット」をお読みください。
	映像を印刷することができます。操作方法は、P102「印刷」をお読みください。
	再生中のすべての映像の再生を中止します。
	ビューウィンドウのレイアウトを選択することができます。ボタンをクリックすると、リストが表示されます。1×1、2×2、1＋5、3×3、1＋12、4×4の6種類です。
	現在表示中のビューウィンドウをフルスクリーンで表示します。キーボードの［ESC］キーで元の表示に戻ります。
	複数のディスプレイを使用している場合、NCプレイバックの画面を別のディスプレイに切り替えることができます。

ブラウジング タブの構成

【ブラウジング】パネルに表示されるアイコンについて説明します。



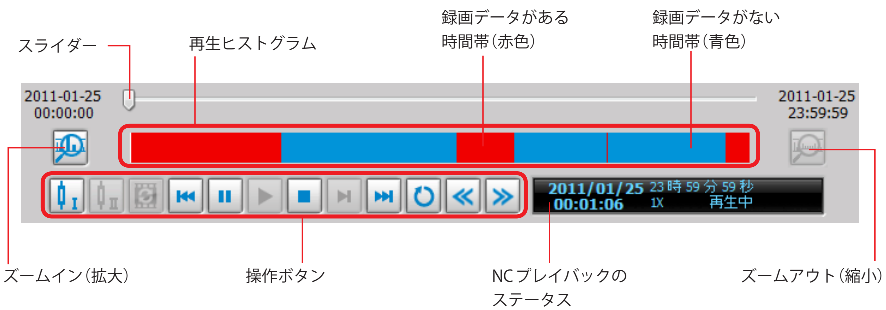
●アイコンの概要

	ステーション名が表示されます。 初期値：Logitec_Station
	NCライブクライアントに登録された本製品（LAN-NC1M3G/FX）が表示されます。
	NCライブクライアントに登録されていたが、デバイスツリーから削除されたカメラです。ツリーの下に存在する過去に録画したデータを再生することができます。
	録画データが存在する日付を表示します。

4 コントロールパネルを使う

録画した映像は、ビューウィンドウで再生することができます。映像はコントロールパネルを使用することで、さまざまな操作が可能です。

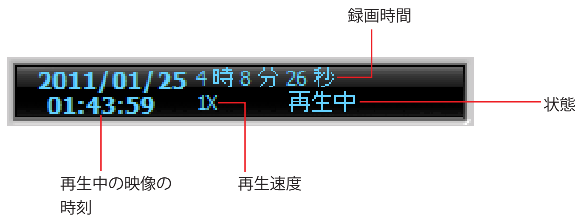
コントロールパネルの構成



■操作ボタンの機能

	ボタンを押すたびに、再生ヒストグラムに表示される時間が1/2になります。例えば6時間の映像は、6時間→3時間→90分→45分→22.5分というようになります。
	ボタンを押すたびに、再生ヒストグラムに表示される時間が2倍になります。
	映像をエクスポートするときの開始点を設定します。
	映像をエクスポートするときの終了点を設定します。
	映像のエクスポートを実行します。
	このボタンをクリックするたびに前のインデックスにスキップします。
	映像の再生を一時停止します。▶をクリックすると再生を再開します。
	停止中または一時停止中の映像を再生します。
	映像の再生を停止します。
	一時停止中の映像をコマ送りできます。一時停止中に使用できます。
	このボタンをクリックするたびに次のインデックスにスキップします。
	選択中の映像を繰り返し再生します。リピート再生中は、ステータスに マークが表示されます。
	1/8×、1/4×、1/2×の3段階で遅送りが可能です。
	2×、4X、8X、16Xの4段階で早送りが可能です。

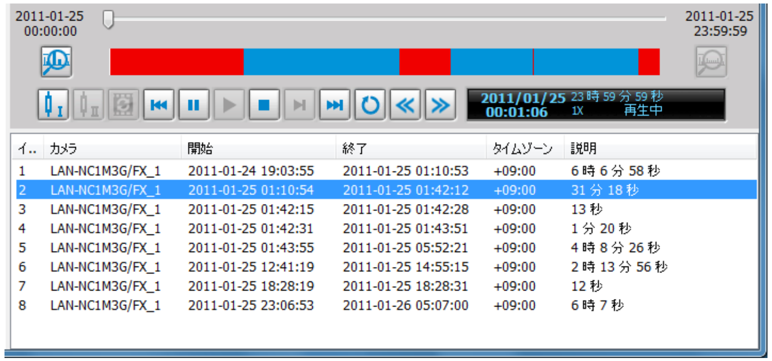
■ステータス



録画した映像のコントロール

以下のボタンを使用することで、選択中のセルに表示された映像の操作が可能です。

ビューウィンドウのセルに複数の映像を表示している場合
セルに赤い枠が表示された映像が操作の対象になります。

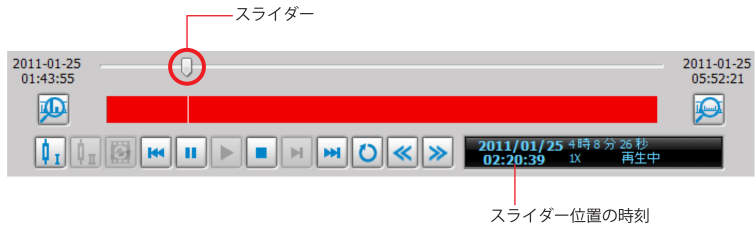


●各ボタンの機能

	再生	停止中または一時停止中の映像を再生します。
	一時停止	映像の再生を一時停止します。▶をクリックすると再生を再開します。
	停止	映像の再生を停止します。
	コマ送り	映像をフレーム単位でコマ送りします。一時停止中に使用できます。
	前後のインデックスへスキップ	このボタンをクリックするたびに前または次のインデックスにスキップします。
	リピート再生	選択中の映像を繰り返し再生します。リピート再生中は、ステータスに マークが表示されます。
	再生速度	再生スピードを、1×/2×/4×/8×/16×/32×/64×から選択できます。≫をクリックすると速く、≪をクリックすると遅くなります。

■スライダー

スライダー をドラッグしながら左右に移動させることで、モニターしたい時間帯を自由に選ぶことができます。スライダーの位置がどの時間にあたるかは、ステータスに表示される時刻で確認できます。



■ズームインとズームアウト

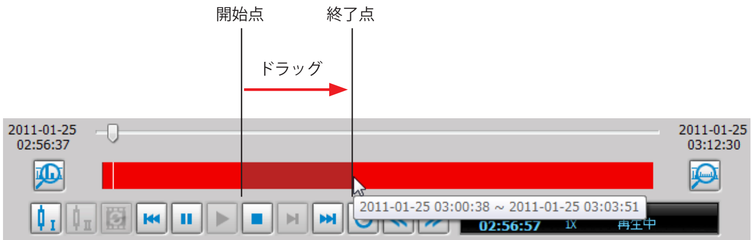
再生ヒストグラムには、1日分（24時間）または選択中のインデックスの録画時間を最大幅として表示しています。ズームイン/ズームアウト機能を使うことで、再生ヒストグラムに表示される時間の幅を調整することができます。
例えば、ズームイン機能を使うことで、再生ヒストグラム上に限られた時間だけを表示することができ、スライダーを使った微妙な時間移動が可能になります。



	ズームイン	ボタンを押すたびに、再生ヒストグラムに表示される時間が1/2になります。例えば6時間の映像は、6時間→3時間→90分→45分→22.5分というようになります。
	ズームアウト	ボタンを押すたびに、再生ヒストグラムに表示される時間が2倍になります。

■ドラッグによるズームイン

再生ヒストグラム上でカーソルをドラッグすることで、表示範囲を選択することができます。60秒未満の時間幅にズームインすることはできません。



❶ 再生ヒストグラム上でズームインする開始点にカーソルを置きます。

・ 再生ヒストグラム上にカーソルを置くと、カーソルの位置の時間がポップアップで表示されます。

❷ マウスをドラッグし、ズームインする終了点にカーソルを置きます。

・ 終了点から開始点の方向にドラッグすることも可能です。

■リピート再生

をクリックすると、選択中の映像を繰り返し再生します。リピート再生中は、ステータスに マークが表示されます。

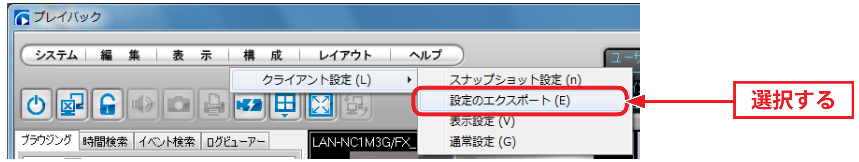


録画した映像をファイルに保存する（映像のエクスポート）

録画した映像をファイルに保存することができます。録画した映像の中の任意の場所に開始点と終了点をマーカーし、その部分だけを保存できます。ファイル形式はEXE形式、3GP形式、AVI形式の3種類から選べます。

1 あらかじめ、エクスポートに関する初期設定をしておきます。

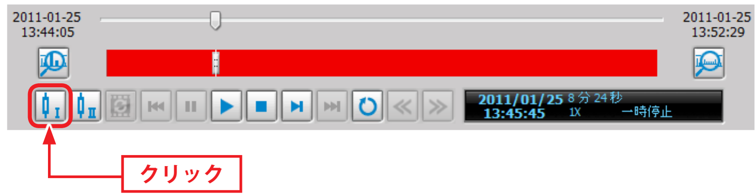
❶ メニューバーで［構成］→［クライアント設定］→［設定のエクスポート］を選択します。



❷ 必要な設定をおこないます。設定項目の詳細については、P108「設定のエクスポート」をお読みください。

2 保存したい部分が入った映像をビューウィンドウで表示します。

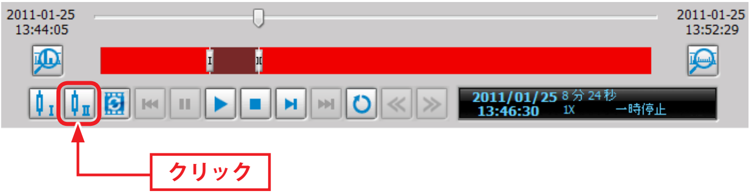
3 スライダーを使って、保存したい部分の開始点をさがし、 をクリックします。



• 再生ヒストグラム上に開始点がマーカーされます。

• 再生ヒストグラム上のマーカーをドラッグすることで、マーカーの位置を変更することができます。

4 **スライダーを使って、保存したい部分の終了点をさがし、 をクリックします。**

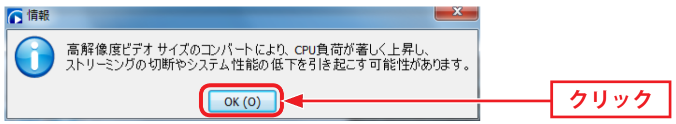


- 再生ヒストグラム上に終了点がマーカーされます。
- 録画する区間の色が茶色に変わります。
- 再生ヒストグラム上のマーカーをドラッグすることで、マーカーの位置を変更することができます。

5 **をクリックします。**



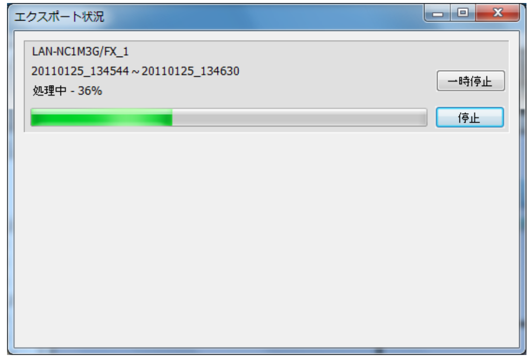
6 **エクスポートを開始するか確認の画面が表示されますので、 OK をクリックします。**



- 映像のエクスポートが開始されます。

エクスポート中は、コンバート作業にCPUを使用するため、ストリーミングや他の操作に影響を及ぼすことがあります。

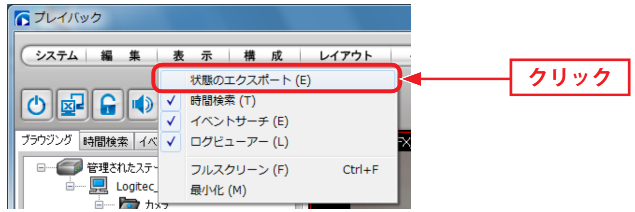
7 **〈エクスポート状況〉画面が表示されます。**



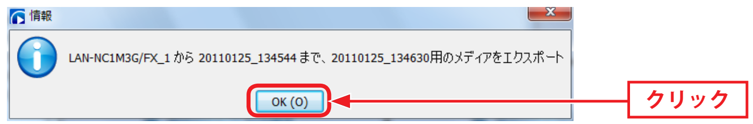
〈エクスポート状況〉画面を閉じる

エクスポート作業中、この画面が表示されますので、他の作業に邪魔な場合は、 を クリックして画面を閉じます。

途中で進行状況を知りたいときは、メニューバーで[表示]→[状態のエクスポート]を選択すると、〈エクスポート状況〉画面が表示されます。



8 **エクスポート作業が終了すると、メッセージが表示されますので、 OK をクリックします。**



9 **エクスポートされた録画データは、指定したファイル形式に対応した再生ソフトでご覧になれます。**

- 録画データの保存先は、〈設定のエクスポート〉画面（→P108）で設定した場所になります。

5 システム メニュー

システムメニューの各項目について説明します。

ロック	第三者にNCプレイバックを操作されないために、ソフトウェアの操作をロックすることができます。使用方法については、P98「ロック」をお読みください。
LiveClientを起動	付属ソフト「NCライブクライアント」を起動します。「NCライブクライアント」の使用方法は、P11「NCライブクライアント 操作編」をお読みください。
ログアウト	現在のユーザーでのログインを終了します。詳しくはP99「ログアウトとログイン」をお読みください。
終了	NCプレイバックを終了します。確認の画面が表示されますので、OK をクリックします。

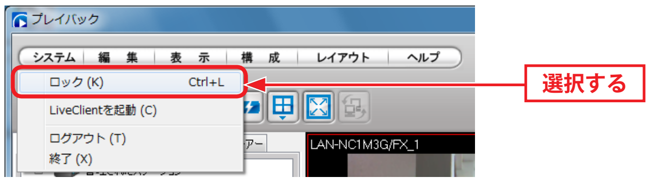
ロック

第三者にNCプレイバックを操作されないように、操作をロックすることができます。ロックすると、ログイン時と同じパスワードを入力しない限り、操作ができなくなります。

画面の表示方法　[システム] ➡ [ロック]

●ロックする

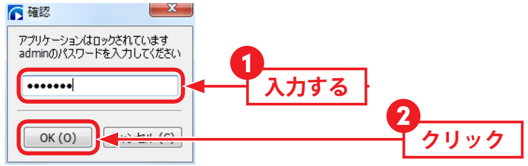
❶ [システム]→[ロック]を選択します。



• これでNCプレイバックがロックされました。以降は、操作しようとするたびに、パスワードの入力画面が表示されます。

●ロックを解除する

NCプレイバックで何らかの操作をしようとすると、パスワードの入力画面が表示されます。ログインしたユーザーのパスワードを入力し、OK をクリックすると、操作を続けることができます。

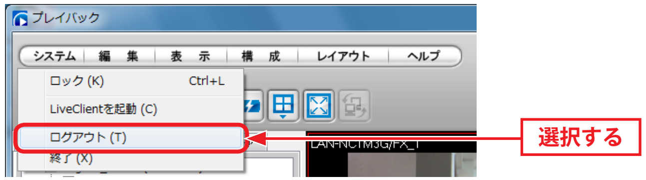


ログアウトとログイン

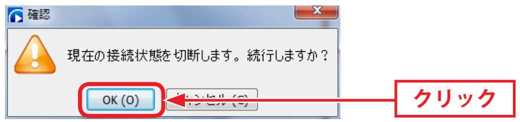
現在のユーザーでのログインを終了し、別のユーザーでログインし直すことができます。

画面の表示方法　[システム] ➡ [ログアウト]

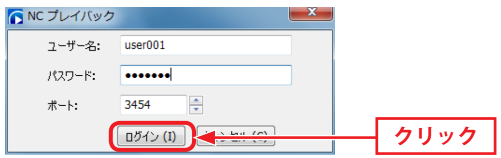
1 **メニューバーの[システム]→[ログアウト]を選択します。**



2 **ログアウトするか確認の画面が表示されます。OK をクリックします。**



3 **再ログインするための画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力し、ログイン をクリックします。**



6 編集メニュー

編集メニューの各項目について説明します。

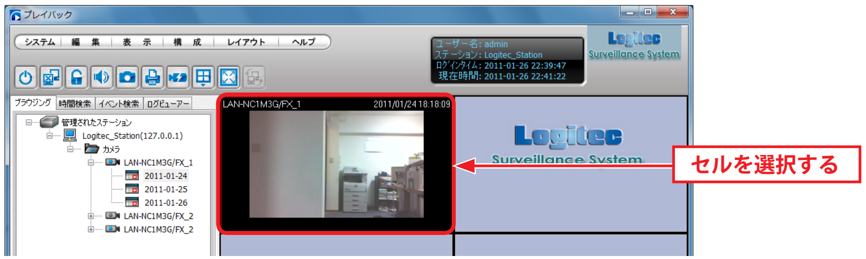
スナップショット	ビューウィンドウで選択中（赤枠）の映像を静止画で保存できます。操作方法は、P100「スナップショット」をお読みください。
印刷	映像を印刷することができます。操作方法は、P102「印刷」をお読みください。。
検索	【ブラウジング】パネル上の情報を検索することができます。

スナップショット

ビューウィンドウで選択中（赤枠）の映像を静止画で保存できます。なお、保存画像のファイル形式等の設定は、「スナップショット設定（→P106）」の設定に従います。

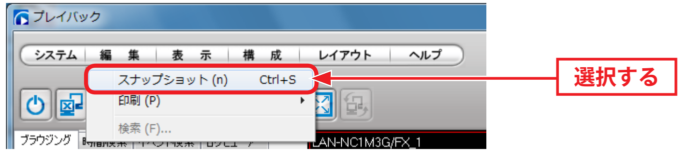
画面の表示方法　（セル選択）➡［編集］➡［スナップショット］

1 スナップショットで撮影したいセルを選択します。

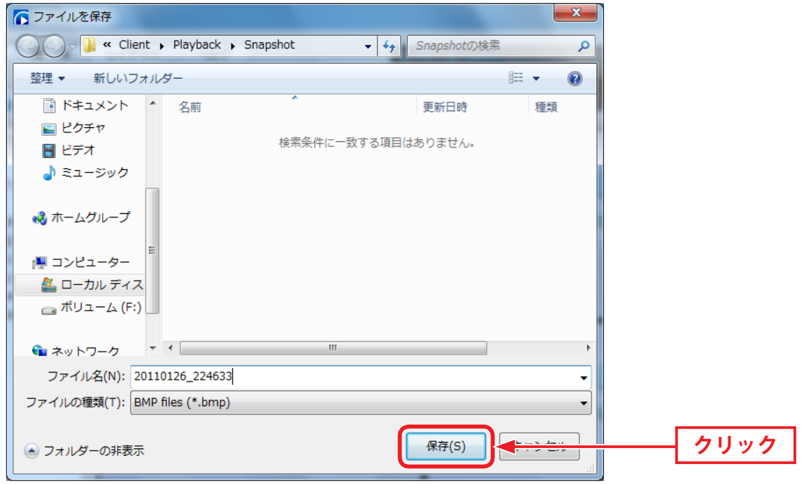


• 選択したセルが赤枠で囲まれます。

2 メニューバーの［編集］→［スナップショット］を選択します。



3 〈ファイルを保存〉画面が表示されます。ファイルの保存場所とファイル名を指定し、 保存 をクリックします。



• ファイル形式等は、「スナップショット設定（→P106）」の設定に従います。

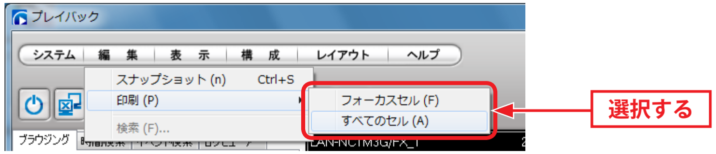
4 ファイルが、指定した場所に保存されます。

印刷

印刷を実行した時点の映像をプリントアウトすることができます。

画面の表示方法　［編集］➡［印刷］

1 メニューバーの［編集］→［印刷］を選択し、さらに印刷対象を選択します。

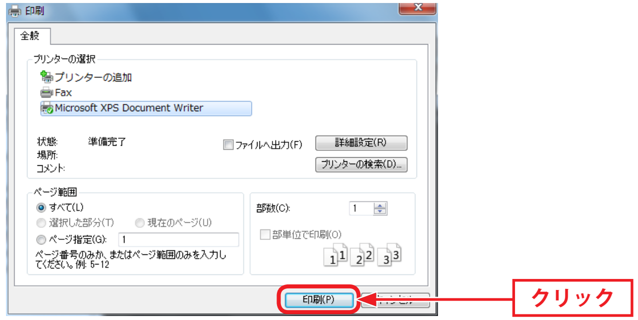


フォーカスセル	ビューウィンドウで選択中（赤枠）の映像を印刷します。
すべてのセル	ビューウィンドウ全体を印刷します。

※レイアウトで１＋５を選択している場合、以下のように印刷されます。



2 必要に応じてプリンタおよびオプションを設定し、［印刷］をクリックします。



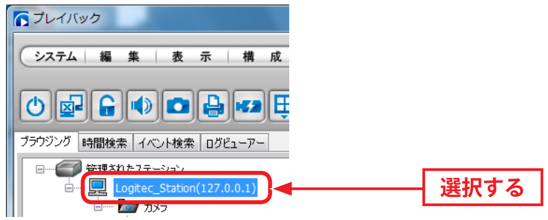
3 映像がプリンタから印刷されます。

検索

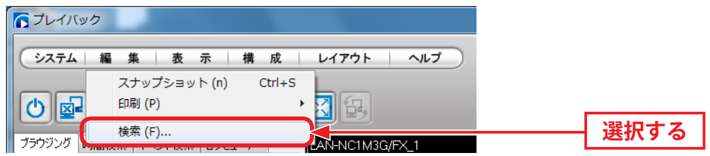
デバイスツリーのカメラリストから特定のカメラを検索することができます。

画面の表示方法　（ステーション選択）➡［編集］➡［検索］

1 【ブラウジング】パネルで、ステーションアイコン を選択します。

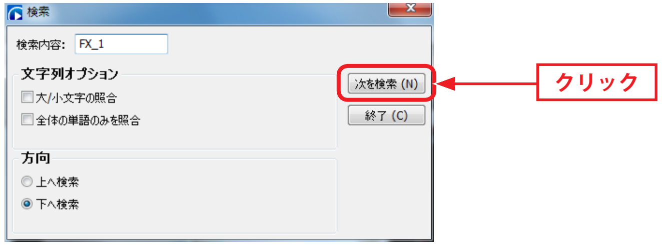


2 メニューバーの［編集］→［検索］を選択します。

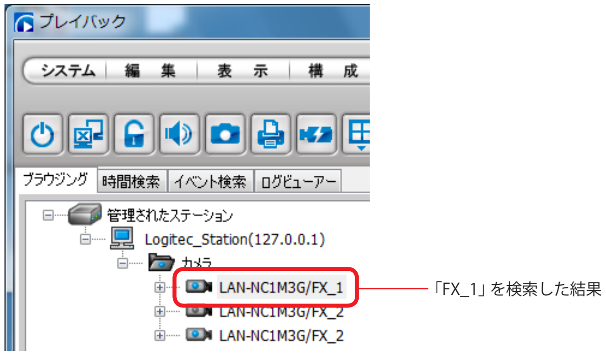


• ステーションアイコンを右クリックし、リストから選択する方法もあります。

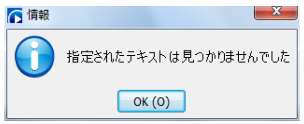
3 **検索したい文字列を入力し、必要に応じてオプションを選択します。［次を検索］をクリックします。**



4 **検索結果が表示されます。**



- 検索対象が複数ある場合は、［次を検索］をクリックすると、次の検索結果に移動します。
- 検索対象がない場合は、以下の画面が表示されます。［OK］をクリックします。



- 終了する場合は、〈検索〉画面の［終了］をクリックします。

7 表示メニュー

表示メニューの各項目について説明します。

状態のエクスポート	録画データをエクスポート中、〈エクスポート状況〉画面を閉じた場合、この項目を選択することで、再表示できます。
時間表示 イベントサーチ ログビューアー	メイン画面の左側には、【ブラウジング】パネル以外に、【時間検索】、【イベント検索】、【ログビューアー】の3つの検索パネルを表示できます。 このメニューでチェックをオン/オフすることで、この3つの検索パネルの表示/非表示を切り替えることができます。チェックマークが入ったパネルが表示されます。
フルスクリーン	現在表示中のビューウィンドウをフルスクリーンで表示します。キーボードの[ESC]キーで元の表示に戻ります。
最小化	NCプレイバックの画面を最小化します。

8 構成メニュー ［クライアント設定］

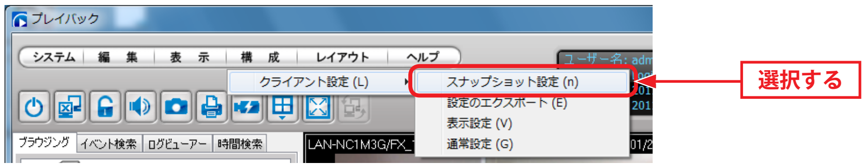
［構成］メニューの［クライアント設定］では、クライアント関連の設定をします。

スナップショット設定	スナップショットの基本設定をします。	→P106
設定のエクスポート	録画データをエクスポートする場合の基本設定をします。	→P108
表示設定	ビューウィンドウに表示されるセルの基本設定をします。	→P110
通常設定	NCプレイバックの基本機能を設定します。	→P112

スナップショット設定

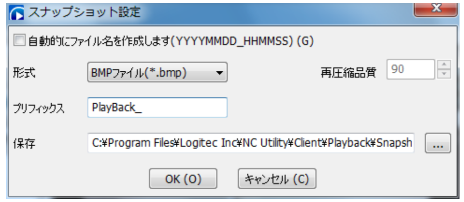
スナップショットの基本設定をします。

画面の表示方法　［構成］➡［クライアント設定］➡［スナップショット設定］



※ビューウィンドウで映像の表示されたセルを右クリックしても選択できます。

●設定を変更したら…
必ず［OK］をクリックして、設定を保存してください。

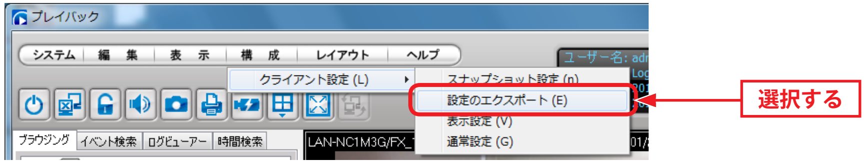


自動的にファイル名を作成します（YYYYMMDD_HHMMSS）	この項目をチェックすると、スナップショットに自動的に以下のファイル名が付きます。 （例）XXXXXXX_20110315_221734_XX.jpg （XXXXXXX：プリフィックス、20110315_221734：日時、XX：スナップショットの通し番号、jpg：ファイル形式） 初期値＝オフ
形式	スナップショットの画像形式をBMPとJPEGから選択できます。初期値＝BMPファイル
再圧縮品質	JPEG選択時に圧縮品質を設定できます。初期値＝90
プリフィックス	ファイル名の先頭に指定した文字列を付けるようにします。 初期値＝空白（なし）
保存	スナップショットの保存先を指定できます。初期値はNCライブクライアントのプログラムフォルダ内にあります。

設定のエクスポート

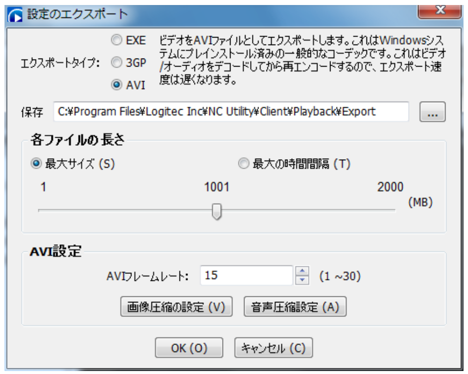
映像を再生するとき、映像の一部をEXE、3GP、AVI形式のいずれかでローカルコンピュータにエクスポートできます。ここでは、エクスポート機能の基本設定をします。

画面の表示方法　［構成］➡［クライアント設定］➡［設定のエクスポート］



●設定を変更したら…

必ず［OK］をクリックして、設定を保存してください。



●エクスポートタイプ

エクスポートするビデオ形式を、EXE/3GP/AVIの中から選択します。

EXE	プレーヤー機能を内蔵したEXEファイルを作成します。作成したEXEファイルを実行すると、ビデオを自動再生することができますので、再生用のプログラムを用意する必要はありません。再生画面のボタン等の使用方法は、NCプレイバックのコントロールパネルと同等です。
3GP	標準的なMP4ファイルで、VLC/QuickTime/RealPlayerなどのプレーヤーで再生できます。これらのプレーヤーをインストールしている場合は、3GPを選択してください。
AVI（初期値）	Windowsにインストールされている一般的なコーデックを使用します。エクスポートに時間がかかります。

●保存

エクスポートしたファイルを保存する場所を指定します。［...］をクリックすると、〈フォルダーの参照〉画面が表示されますので、保存場所を指定してください。

初期値＝C:\Program\Logitec Inc\NC Utility\Client\Playback\Export

●各ファイルの長さ

ファイルの最大サイズまたは、映像の最大時間を設定します。エクスポートする録画データが設定値を超えた場合は、複数のファイルに分割されます。

最大サイズ（初期値）	スライダーを使って、最大サイズを指定します。最大値は「2000MB」です。 初期値＝1001MB
最大の時間間隔	スライダーを使って、映像の最大時間を指定します。最大値は150分です。 初期値＝10分

AVIファイルのファイルサイズ

AVI形式は、ファイルサイズが最大2Gバイトという制限があります。［最大の時間間隔］を選択した場合、ファイルサイズが2Gバイトを超える場合は、最大時間に達していなくても、複数のファイルに分割されます。

●AVI設定

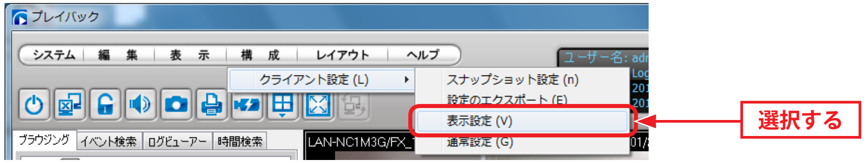
［エクスポートタイプ］で、［AVI］を選択している場合に表示されます。AVIファイルのフレームレート等、品質の設定をします。

AVIフレームレート	フレームレートを1～30の間で設定します。フレームレートが高くなるほど、映像の品質がよくなりますが、ご使用の環境によっては、圧縮に時間がかかり、十分な品質が得られないことがあります。　初期値＝15フレーム
［画像圧縮の設定］	このボタンをクリックすると、圧縮に使用するコーデックを選択したり、選択したコーデックのオプションを設定できます。
［音声圧縮設定］	このボタンをクリックすると、音声圧縮の形式などを選択できます。また、設定内容に名称を付けて保存することもできます。

表示設定

ビューウィンドウに表示される映像のセルに関する基本機能を設定します。

画面の表示方法　［構成］➡［クライアント設定］➡［表示設定］



●設定を変更したら…

必ず OK をクリックして、設定を保存してください。



■表示位置

4つエリアに各種情報を表示することができます。エリアごとにプルダウンメニューから内容を選択できます。

選択できる内容は、カメラ名/ビデオタイトル/カメラ日付/カメラ時間/カメラ日時/表示なしの6種類です。



初期値＝表示エリア1：カメラ名、表示エリア2：カメラ日時、
　　　　表示エリア3：ビデオタイトル、表示エリア4：表示なし

■日時の形式

ローカルコンピュータと同じ（初期値）	NCライブクライアントをインストールしたパソコンと同じ日時形式になります。
指定	日時形式を指定します。 日付の形式：YYYY/MM/DD、MM/DD/YY 時間形式：デフォルトの時間形式、12h AM/PM、24h

■フォント設定

表示される文字のフォント、色、サイズが選択できます。

フォント	リストに表示されるフォントから選択できます。 初期値＝System
カラー	白・赤・緑・青の4色の中から選択できます。　初期値＝白
サイズ	フォントのサイズを選択できます。　初期値＝10

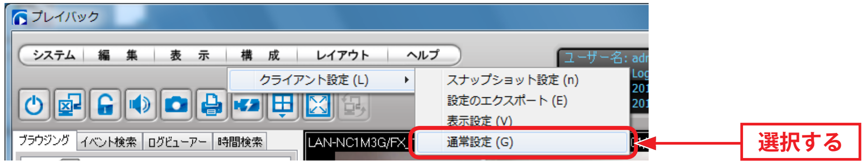
■ビデオ表示モード

縦横比の保持	ビューウィンドウのレイアウトを変更しても、常に映像の縦横比を保持した状態で表示します。　初期値＝オフ
トリガーが発生すると、モーションウィンドウを表示します	イベントのトリガーが発生すると、赤枠のモーション検出ウィンドウを表示します。　初期値＝オン

通常設定

NCプレイバックの基本的な機能を設定します。

画面の表示方法　［構成］➡［クライアント設定］➡［通常設定］



●設定を変更したら…

必ず［OK］をクリックして、設定を保存してください。



■システム設定

●指定ポート経由でRTSPストリーミングを取得

特定のポートを使って、RTSPストリーミングを利用する場合のポート番号を指定します。
初期値から変更する場合に、チェックボックスをオンにして、ポート番号を指定します。
初期値＝オフ、ポート番号：554

9 レイアウト メニュー

ビューウィンドウのレイアウトを選択することができます。
メニューバーで［レウアウト］を選択すると、リストが表示されます。1×1、2×2、1＋5、3×3、1＋12、4×4の6種類からレイアウトを選択できます。



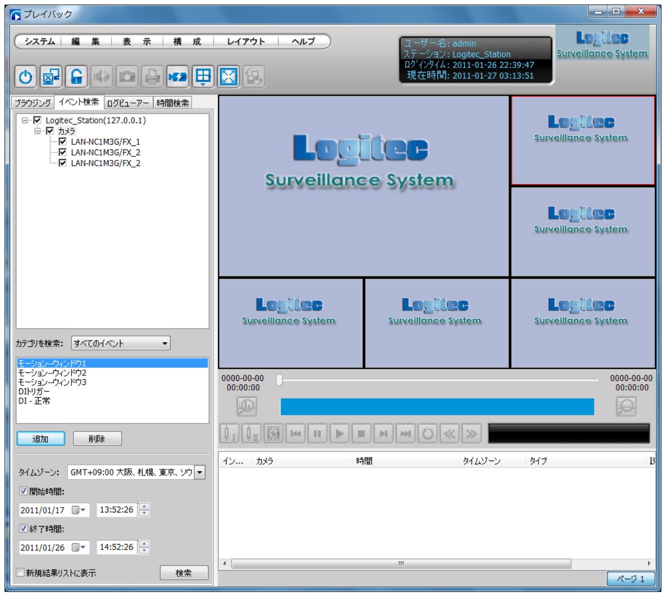
10 検索パネル（イベント検索/ログビューアー/時間検索）

メイン画面の左側には、【ブラウジング】パネル以外に、イベント検索、ログビューーアー、時間検索の3つのパネルを表示して使用することができます。

イベント検索	録画した映像の中から、モーション検知イベント、IVAイベント、DIイベントを検索対象として、目的の映像を検索することができます。	→P114
ログビューアー	ローカルのログを検索できます。検索条件にはログのカテゴリ/ユーザー/結果/ログタイプ/ログレベルを設定できます。 検索結果は、ログの詳細な履歴といっしょに、ログビューアーウィンドウに表示されます。	→P116
時間検索	特定の期間に録画された映像を検索することができます。	→P119

イベント検索

録画した映像の中から、モーション検知イベント、DIイベントを検索対象として、目的の映像を検索することができます。



●**カテゴリを検索**

検索対象のカテゴリを指定します。すべてのイベント/すべてのモーション（検知）イベント/すべてのDIイベント/名付けられたDIイベントの4種類から選択できます。

すべてのイベント	モーション検知イベント、DIイベントの両方を検索対象にします。
すべてのモーションイベント	モーション検知イベントを検索対象にします。
すべてのDIイベント	DI（デジタル入力）イベントを検索対象にします。
名付けられたDIイベント	NCライブクライアントでは、「DI」に名称を付けることができます。この名称を検索ワードにすることができます。 追加 により、オリジナルのDIイベント名を登録してください。
追加	削除したイベントを再度登録したり、[名付けられたDIイベント]では、オリジナルのDI名検索の設定を保存できます。
削除	リストに表示された「イベント」を選択し、削除 をクリックすると、そのイベントが削除されます。削除したイベントは、追加 で再登録できます。

モーション検知について

モーション検知の設定などは、本製品に搭載されたブラウザ版のユーティリティでおこないます。設定など詳しい説明は「ブラウザ版ユーティリティ操作ガイド」をお読みください。

●**タイムゾーン**

タイムゾーンを設定します。

●**開始時間と終了時間**

検索の対象になる期間を指定します。開始時間だけを設定したり、終了時間だけそ設定することもできます。

・直接、日時を入力することができます。

・日付の横の をクリックしてカレンダーから日付を選択することができます。

・時間は、 をクリックすることで1秒単位での指定が可能です。

●**新規結果リストに表示**

検索結果はすべて一覧の新しいページに表示されます。これにより、検索結果を検索カテゴリごとに別のページに表示することができます。

■**検索の手順**

❶【イベント検索】パネルを選択します。

❷ ツリーで、イベントを検索するステーションを選択します。

❸［カテゴリを検索］で、イベントのカテゴリを選択します。

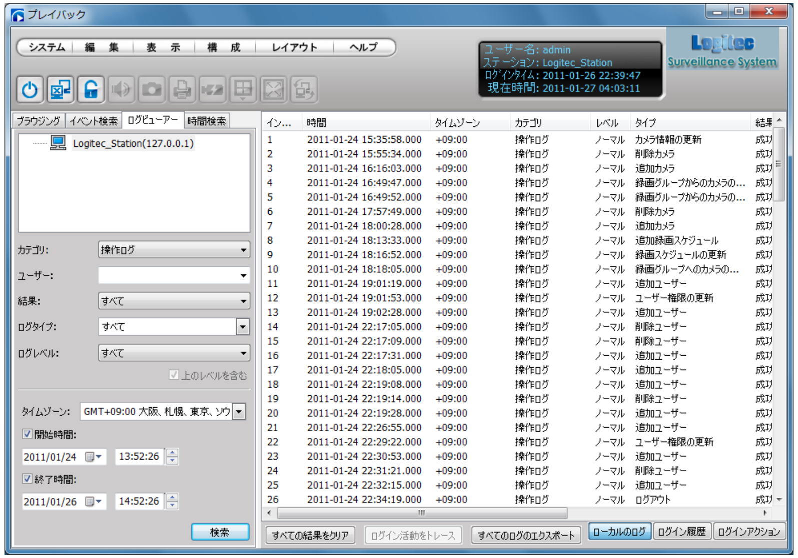
❹ 検索するイベントの発生期間を設定します。

❺ 検索 をクリックします。

❻ 検索された映像の情報が一覧で表示されます。

ログビューアー

保存されたローカルログを閲覧することができます。また、検索機能により、ローカルログの内容を条件にあわせて抽出することができます。



■ボタンの機能

すべての結果をクリア	表示された検索結果をすべてクリアします。
ログイン活動をトレース	リストで選択したログのユーザーが実行した操作をトレースします。
すべてのログをエクスポート	すべてのログをCSVファイル形式でエクスポートできます。このボタンをクリックすると〈ログのエクスポート〉画面が表示されますので、ファイル名と保存先を指定して、保存 をクリックします。
ローカルのログ	ログの検索結果を表示します。
ログイン履歴	ログイン履歴の検索結果を表示します。
ログインアクション	ログイン中にユーザが実行した操作をリストで表示します。[ローカルのログ]または[ログイン履歴]のページで、ログインまたはログアウトの記録（行）を選択し、このボタンをクリックしてください。

■カテゴリ/ログレベル/ログタイプ

各カテゴリにおけるログレベルとログタイプは以下のとおりです。

カテゴリ	ログレベル	ログタイプ
操作ログ	ノーマル	ログイン、ログアウト
		追加ユーザー
		ユーザー名の更新
		ユーザーパスワードの更新
		ユーザー権限の更新
		削除ユーザー
		追加カメラ
		カメラ情報の更新
		削除カメラ
		録画グループの設定
		追加録画スケジュール、録画スケジュールの更新、削除録画スケジュール
		追加イベント管理、イベント管理の更新、削除イベント管理
		追加録画グループ、録画グループの更新、削除録画グループ
		追加録画パス、録画パスの更新、削除録画パス
		録画グループへのカメラの追加
		録画グループのカメラの更新
		録画グループからのカメラの削除
		移動 録画パス
		別の録画グループへのカメラの移動
		追加レイアウト、レイアウトの更新、削除レイアウト
		デジタル出力の設定
		スケジュールバックアップを更新
		サーバーポートの更新
		Proxyサーバーの設定
		UPNPの設定
		DDNSサーバーの設定
		ディレクトリの作成、名前を変更ディレクトリ、削除ディレクトリ
		追加SMTPサーバー、SMTPサーバーの更新、削除SMTPサーバー
		追加ネットワークストレージ設定、ネットワークストレージ設定の更新、削除ネットワークストレージ設定
		GSMモデムの設定
		DI/DO名前変更の設定
		リレー設定の設定
		追加受信先ボックス、受信先ボックスの更新、削除受信先ボックス

カテゴリ	ログレベル	ログタイプ
操作ログ	高	手動で録画開始
		手動で録画停止
	低	カメラのPTZ、絞り、焦点、パン、パトロールの制御
		画像をクリック
		プリセット位置を選択
システムログ	高	サーバー起動、サーバー停止
		仮想メモリ 低
		ネットワーク欠落フレーム
イベントログ	高	サーバーから切断されたカメラ、カメラはサーバーに接続しました
		ペアレントステーションとの接続が中断、ペアレントステーションとの接続が回復
		カメラ録画スタート、カメラ録画停止
		スケジュールバックアップを開始、スケジュールバックアップを停止
		イベントトリガー

■検索の手順

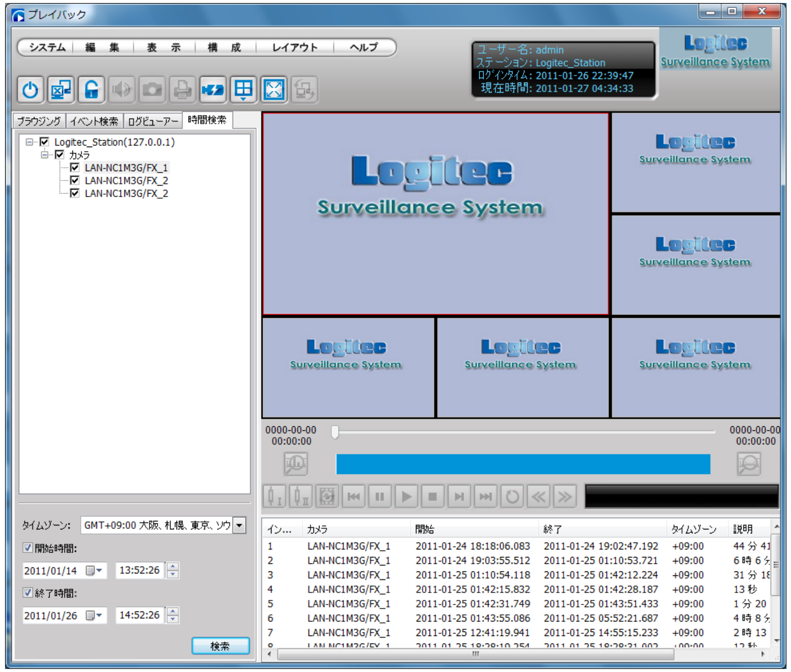
❶【ログビューアー】パネルを選択します。
❷ ツリーで、ログを検索するステーションを選択します。
❸［カテゴリ］で、ログの種類を選択します。
❹［ユーザー］で、ユーザーを選択します。
❺［結果］で、表示する検索結果の種類を設定します。

すべて	検索結果をすべて表示する
成功しました	成功したログのみ表示する
Fail	失敗したログのみ表示する

❻［ログタイプ］を設定します。
❼［ログレベル］を設定します。
❽ 検索の対象となる期間を設定します。
❾ 検索 をクリックします。
検索結果が表示されます。

時間検索

特定のカメラが、指定した期間に録画した映像のリストを表示することができます。



●タイムゾーン

タイムゾーンを設定します。

●開始時間と終了時間

検索の対象になる期間を指定します。開始時間だけを設定したり、終了時間だけそ設定することもできます。

・直接、日時を入力することができます。
・日付の横の をクリックしてカレンダーから日付を選択することができます。
・時間は、 をクリックすることで1秒単位での指定が可能です。

■検索の手順

❶【時間検索】パネルを選択します。
❷ ツリーで、映像を検索するカメラを選択します。
❸ 日時の範囲を設定します。
❹ 検索 をクリックします。

- 検索結果が一覧で表示されます。
- リストからビューウィンドウのセルにドラッグ＆ドロップすることで、映像を再生できます。

100万画素 3G対応ネットワークカメラ "LAN-NC1M3G/FX"　Windows版ソフトウェア　ユーザーズマニュアル
発行 ロジテック株式会社　2011年2月9日　第1版